

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数			
科目名	論理学	横山ひとみ	1年次	単位数 1 単位			
				時間数 30 時間			
教育目標	論理の構造や形式を学び、具体的な課題に取り組むことによって、論理学の基礎的な知識を習得する。また、その知識を基盤とした論述文の読み書きの技能を身に付ける						
講義回数	講義内容		備考				
1回	オリエンテーション、論理とは? さまざまな接続関係について理解する。						
2回	接続の構造について理解する。						
3回	議論の組み立てについて理解する。						
4回	演繹と推測について理解する。						
5回	演繹の正しさと推測の適切さについて理解する。						
6回	論述文とその他の文の違いについて理解する。						
7回	論述文に不可欠な要素を理解する。						
8回	論述文読み書きトレーニング1：論述文を読む際のポイントについて理解する						
9回	論述文読み書きトレーニング2：論述文を読む。						
10回	論述文読み書きトレーニング3： 論述文の要旨を読む際のポイントについて理解する。						
11回	論述文読み書きトレーニング4：論述文の要旨を書く。						
12回	論述文読み書きトレーニング5：論述文を書く際のポイントについて理解する						
13回	論述文読み書きトレーニング6：論述文を書く。						
14回	論述文読み書きトレーニング7：論述文を書く。						
15回	単位認定試験						
使用 テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。						
評価方法	提出物および単位認定試験						

授業計画(シラバス)

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数					
科目名	論理学	横山ひとみ	1年次	単位数	1 単位				
				時間数	30 時間				
教育目標	論理の構造や形式を学び、具体的な課題に取り組むことによって、論理学の基礎的な知識を習得する。また、その知識を基盤とした論述文の読み書きの技能を身に付ける								
講義回数	講義内容			備考					
1回	オリエンテーション、論理とは? さまざまな接続関係について理解する。								
2回	接続の構造について理解する。								
3回	議論の組み立てについて理解する。								
4回	演繹と推測について理解する。								
5回	演繹の正しさと推測の適切さについて理解する。								
6回	論述文とその他の文の違いについて理解する。								
7回	論述文に不可欠な要素を理解する。								
8回	論述文読み書きトレーニング 1 : 論述文を読む際のポイントについて理解する								
9回	論述文読み書きトレーニング 2 : 論述文を読む。								
10回	論述文読み書きトレーニング 3 : 論述文の要旨を読む際のポイントについて理解する。								
11回	論述文読み書きトレーニング 4 : 論述文の要旨を書く。								
12回	論述文読み書きトレーニング 5 : 論述文を書く際のポイントについて理解する								
13回	論述文読み書きトレーニング 6 : 論述文を書く。								
14回	論述文読み書きトレーニング 7 : 論述文を書く。								
15回	単位認定試験								
使用 テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。								
評価方法	提出物および単位認定試験								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期	単位数		
科目名	看護物理学	川部 健	1年次	単位数	1単位	
				時間数	30時間	
教育目標	自然現象や日常生活の身の回りの様々な現象には、物理学によって説明できることが多い。医療福祉分野で使われている器具や技法の根底にも物理の基礎知識が関わっている。医療との関わりに注目しながら、力、圧力、熱現象、光、放射線、音、振動などの理解を深めながら物理的な思考能力を養う。					
講義回数	講義内容		備考			
1回	「物理学」を学ぶための準備		講議			
2回	物体の運動		講議			
3回	力と加速度		講議			
4回	円運動と遠心力		講議			
5回	力のモーメントと物体の安定性		講議			
6回	大気圧と水圧		講議			
7回	浮力の原理と圧力の測定		講議			
8回	熱と温度、熱伝導		講議			
9回	物質の三態：個体・液体・気体		講議			
10回	物質の相転移現象		講議			
11回	音波と振動		講議			
12回	光の分散・屈折・散乱現象		講議			
13回	ドップラー効果、超音波、レーザー		講議			
14回	放射線		講議			
15回	筆記試験		試験			
評価方法	期末試験成績を重視し、授業態度や出席状況を加味して総合的に評価する。					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期	単位数			
科目名	情報科学	田辺 敬	1年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	情報科学の基礎理論やその技術的側面であるコンピューターに関する知識を深め看護所情報処理に活かす。						
講義回数	講義内容		備考				
1回	情報の変遷と情報化社会		演習				
2回	情報システムの概要とWindowsの構成		演習				
3回	文書管理 Wordの基本操作		演習				
4回	文書作成とテキスト文書		演習				
5回	ワードでの表の作成と編集		演習				
6回	クリップアートの作成		演習				
7回	表計算ソフト Excelの基本操作		演習				
8回	各種グラフの作成		演習				
9回	Excelの活用		演習				
10回	関数の利用		演習				
11回	データベース機能		演習				
12回	プレゼンテーションソフト Power Point 基本操作		演習				
13回	プレゼンテーション資料の作成		演習				
14回	プレゼンテーションのテクニック		演習				
15回	単位認定試験		試験				
使用テキスト	30時間アカデミック 情報リテラシーoffice2016 実教出版						
評価方法	筆記試験・演習・提出物及び出席状況を総合評価						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期	単位数	
科目名	人間学	松尾直昭	1年次	単位数 1単位	
				時間数 30時間	
教育目標	文学を通じて人の生き方、他者の多様な生き方、物事の見方、考え方を学び、哲学を基礎とした人間理解を深め、自己の人間性と感性を豊かにする機会とする。				
講義回数	講義内容		備考		
1回	人間学 概説 青年期の課題と読書		講義		
2回	森鷗外① 人と作品—家長としての鷗外		講義		
3回	森鷗外② 人と作品—留学と恋愛		講義		
4回	森鷗外③ 人と作品—脚氣論争		講義		
5回	夏目漱石① 人と作品—金之助から漱石へ		講義		
6回	夏目漱石② 人と作品—漱石と神経症		講義		
7回	夏目漱石① 人と作品—臨死体験		講義		
8回	芥川龍之介① 人と作品—恋愛と作品		講義		
9回	芥川龍之介② 人と作品—追い詰められる龍之介		講義		
10回	志賀直哉 人と作品—自然と癒し		講義		
11回	島村藤村 人と作品—おぞき血の渾みと告白		講義		
12回	太宰治① 人と作品—反動形成		講義		
13回	太宰治② 人と作品—破滅からの脱却		講義		
14回	三島由紀夫 人と作品—仮面の告白		講義		
15回	遠藤周作 人と作品—宗教と作品		テスト	試験	
使用テキスト	資料・プリント				
評価方法	平生の出席状況と受講態度、最終試験の結果を総合的に判断して評価を決定する。(100点満点)				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期間	単位数			
科目名	看護と経済	泉 博之	1年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	現在の日本全体の経済状況を理解し、保健・医療・福祉の影響について学び看護サービスのマネージメントにつなげる。						
講義回数	講義内容		備考				
1~2回	1. 経済とは		講義				
3~4回	2. 日本の現在の経済状況		講義				
5回	3. 日常生活と経済		講義				
6回	4. 保健・医療・福祉の発展と経済		講義				
7回	5. 保健・医療・福祉とサービスの特性		講義				
8~9回	6. 医療の保障制度と財政基盤		講義				
10回	7. 医療費の抑制		講義				
11回	8. 経営とは		講義				
12回	9. 組織と経営		講義				
13~14回	10. 組織とマネージメント		講義				
15回	11. まとめ テスト		試験				
使用テキスト	印刷物						
評価方法	筆記試験点数(100点満点)						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期	単位数			
科目名	教育学	鎌田雅史	1年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	教育の概念、必要性を理解し教育的姿勢を理解するために、基礎的知識を学習し、看護実践における効果的な教育方法について学ぶ。						
講義回数	講義内容		備考				
1回	オリエンテーション 教育とは 教育思想の変遷		講義				
2~5回	子供の成長発達の理解と支援 フロイトの発達理論 ビアジェの認知発達理論 コーラルバークの道徳性発達理論 エリクソンのライフサイクルモデル		講義				
6~10回	学習支援 学習とは 学習心理学への招待 学習理論と態度・行動形成 学習意欲 記憶の仕組みと教科学習		講義				
11~14回	現代社会の中の教育的課題 発達障害について 自動虐待 いじめ 問題の早期発見と予防・支援の為のコミュニケーション		講義				
15	まとめ 筆記試験		試験				
使用 テキスト	プリント配布						
評価方法	出席状況、受講態度、試験(100点満点)						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	心理学	流王治郎	臨床 心理士	1年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	心の働きのメカニズムを学び、臨床心理における人間行動を理解するまでの手がかりとし、看護実践に役立てる。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	1. 心理学の概要 心理学の沿革 精神活動の理解				講義				
3~5回	2. 精神活動の心理 記憶と知能の心理 感情と性格の心理				講義				
6~7回	3. 人間理解の心理 行動からの人間理解 発達からの人間理解 適応からの人間理解				講義				
8~11回	4. コミュニケーション 人間関係の心理 人間関係の形成 非言語的コミュニケーション				講義				
12~14回	5. 福祉と臨床 相談機関の種類 問題行動のメカニズム カウンセリングと心理治療 まとめ				講義				
15回					試験				
評価方法	試験、受講態度、出席状況(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数			
科目名	人間関係論	水野正憲	1年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	よりよい社会生活を営むために対人関係の基礎的知識と技術を学習し、自己の感性を磨き、自己成長に役立てる。看護場面での治療的対人関係を成立させるための基礎について学習する。						
講義回数	講義内容		備考				
1～8回	新入時宿泊研修（講義・演習を実施） <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解・他者理解 ・自分の魅力を発見し、アピールする ・友人の魅力を発見する、ストロークシート ・看護における対人関係の重要性 		宿泊研修演習				
9回	対人関係とストレス		演習				
10回	自分の与える印象と対人関係		演習				
11回	人を見る目を育てる、ストロークシート		演習				
12回	人の話を聞くこと、ストロークシート		演習				
13回	話し合いと価値観、ストロークシート		演習				
14回	対人関係を良くするには		演習				
15回	全体のまとめと終講試験		試験				
使用テキスト	看護の中の看護活動 中巻 二木シヅエ 水野正憲著 HATO書房						
評価方法	グループワークと演習の参加度と終講試験(100点満点)						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期間	単位数			
科目名	生活科学	平田美智子	1年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	生活者がよりよい生活を送るために、生活の基本的な要素である「衣」「食」「住」について科学的視点をもとに生活を見つめ直し、幅広い知識を養う。						
講義回数	講義内容		備考				
1回	生活科学とは		講義				
2回	家族と家庭		講義				
3回	ワークライフバランス		講義				
4回	子どもの生活		講義				
5回	今の子供たちを取り巻く環境		講義				
6回	高齢者の現状と課題		講義				
7回	衣服と健康		講義				
8回	衣服の管理		講義				
9回	快適な住まい① 日本の住まい・世界の住まい		講義				
10回	快適な住まい② 防災対策		講義				
11回	生活と消費者問題		講義				
12回	環境問題 ラフスタイルとライフステージ		講義				
13回	健康と食生活① 世界と日本の食文化		講義				
14回	健康と食生活② 食生活と現状		講義				
15回	健康と食生活③		講義				
使用テキスト	プリント配布						
評価方法	テスト、出席、授業態度、提出物により総合的に評価します(100点満点)						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数					
科目名	医療英語	廉屋晶子	1年次	単位数	1単位				
				時間数	30時間				
教育目標	国際社会に対応しうる英語の能力と看護の現場における情報の解釈ができる能力を身につける。								
講義回数	講義内容			備考					
1~8回	1. 医学英語 1) 医学英単語 2) 身体各部位の名称 3) 主要疾患名 4) 検査名			講義					
9~14回	2. 医療現場で使う英会話 1) 入院時の対応が出来る 2) 患者のS情報の収集が出来る			講義					
15回	まとめ：学科試験			試験					
使用テキスト	臨床看護英語 医学書院								
評価方法	学科試験・出席日数(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定期	単位数
科目名	英会話	カレン スタッフ	3年次	単位数 時間数
教育目標	国際化に向け、簡単な日常英会話ができる基礎能力を身につける。			
講義回数	講義内容			備考
1～3回	1. 日常英会話 1)A little about myself 2)Classroom expressions 3)Conversation Topics 4)Colors and Clothing			講義
4～5回	5)Shopping Continued ; Shopping 6)Telling Time 7)Days of the week			講義
6～8回	8)How often? 9)Information Questions			講義
9～10回	10)Since & For 11)Inventions			講義
11～12回	12)Weather 13)Weather Comparative Adjectives 14)From Adjectives to Adverbs			講義
13～14回	15)Would you rather 16)Likes and Dislikes 17)Giving Advice 18)Being Sick			講義
15	まとめ 終講試験			試験
使用テキスト	Modern English for Conversation Karen A. Stafford著 大学教育出版			
評価方法	学科試験(100点満点)			

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	音楽	茅原久栄	音楽療法士	3年次	単位数	1単位			
					時間数	15時間			
教育目標	1. 音楽を通して感性を豊かにし、生活に潤いを持つ 2. 音楽の持っている力を臨床の場に活用できるように音楽療法の理解と実践方法を学ぶ。								
講義回数	講義内容				備考				
1回	1. 音楽とは 人間と音楽				講義				
2回	2. 音楽と生活				講義				
3回	3. 音楽の有効性について				講義				
4回	4. 音楽療法とは				講義				
5回	5. 受動的音楽療法				講義				
6回	6. 能動的音楽療法				講義				
7回	7. 臨床での生活と音楽				講義				
8回	8. テスト				試験				
評価方法	筆記試験100点満点で評価します。								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	アクティビティワーカー	青木久美子 久保美紀	看護師 看護師	1年次	単位数			
					時間数			
教育目標	アクティビティワーカーの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術を学ぶ。							
講義回数	講義内容				備考			
1回	今日の社会と社会福祉の動向				演習			
2回	人間の尊厳と自立				演習			
3回	ライフスタイル、生活様式の多様な変化				演習			
4~5回	コミュニケーション				演習			
6~9回	レクリエーションからアクティビティへ。 ～語源と歴史的背景～				演習			
10~14回	アクティビティサービスの理念とその特徴 専門職とその役割。専門職としての人権尊重。 援助の体系と連携。 生活史と文化。				演習			
15回	まとめ・終講試験				試験			
評価方法	単位認定試験(100点満点)							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数						
科目名	解剖生理学 I	森松賢順 高橋賢 歳森亜希子	1年次	単位数	2単位					
				時間数	45時間					
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。									
講義回数	講義内容			備考						
1回	解剖生理学のための基礎知識（第一章）			講義						
2回	解剖生理学の基礎知識（第一章）									
3回	解剖生理学の基礎知識（第一章）									
4回	栄養の消化と吸收 口・喉頭・食道（第二章）									
5回	栄養の消化と吸收	腹部消化管①胃・小腸・大腸	森松 賢順 先生							
6回	栄養の消化と吸收	腹部消化管②胃・小腸・大腸								
7回	栄養の消化と吸收	腹部消化管③脾臓・肝臓・胆嚢								
8回	呼吸と血液の働き	呼吸器の構造								
9回	呼吸と血液の働き	呼吸								
10回	呼吸と血液の働き	血液								
11回	呼吸と血液の働き	血液凝固・血液型	講義							
12回	血液の循環とその調整	循環器系の構成・心臓の構造	高橋 賢 先生							
13回	血液の循環とその調整	心臓の拍出機能								
14回	血液の循環とその調整	抹消循環系の構造								
15回	血液の循環とその調整	血液の循環の調節								
16回	血液の循環とその調整	血液・血流量の調節								
17回	血液の循環とその調整	循環器系の病態生理								
18回	血液の循環とその調整	リンパとリンパ管	試験							
19回	まとめ（消化器）									
20回	まとめ（呼吸器）									
21回	まとめ（血液）									
22回	まとめ（循環器）									
23回	単位認定試験									
使用テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院									
参考書	解剖生理ワークブック 医学書院									
評価方法	出席状況・課題・試験(100点満点)									

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数					
科目名	解剖生理学Ⅱ	三浦綾 専任教員	1年次	単位数	2単位				
				時間数	45時間				
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	体液の調節と尿の生成 腎臓（第五章）			講義					
2回	体液の調節と尿の生成 排尿路・体液の調節（第五章）								
3回	身体の支持と運動 体幹① 骨格								
4回	身体の支持と運動 体幹① 筋								
5回	身体の支持と運動 四肢② 骨格								
6回	身体の支持と運動 四肢② 筋								
7回	身体の支持と運動 頭頸部③ 骨格と筋								
8回	情報の受容と処理 神経系の構造と機能			脊髄と脳					
9回	情報の受容と処理 神経系の構造と機能			脊髄神経と脳神経					
10回	情報の受容と処理 神経系の構造と機能			脊髄と脳					
11回	情報の受容と処理 神経系の構造と機能			脊髄と脳					
12回	情報の受容と処理 神経系の構造と機能			脊髄と脳					
13回	運動・感覚と伝導路								
14回	特殊感覚① 視覚								
15回	特殊感覚② 聴覚・平衡覚・味覚・嗅覚								
16回	疼痛								
17回	自律神経								
18回	内分泌系								
19回	内分泌腺①視床下部－下垂体系－甲状腺－副甲状腺								
20回	内分泌線②膵臓・副腎・性腺・その他								
21回	ホルモン・発生・生殖・老化								
22回	ホルモン・発生・生殖・老化								
23回	単位認定試験			試験					
使用テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院								
参考書	解剖生理ワークブック 医学書院								
評価方法	出席状況・課題・試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	日常生活行動と機能	歳森亜貴子	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	解剖生理が日常生活行動にどのように作用しているかを学習し、看護技術に役立てる。										
講義回数	講義内容				備考						
1～7回 歳森	1) 日常生活行動とは 2) 恒常性維持のための物質の流通 3) 恒常性維持のための物質の調節機構 4) 動くこと 5) 息をすること 6) 食べること 7) トイレに行くこと 8) 見ること・聞くこと・嗅ぐこと・味わうこと・触れること・眠ること				講義						
8～12回 1年団	解剖生理学を基礎とし、下記の内容に関連した看護技術演習の発表をおこなう。 1) 細胞・組織：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 2) 血液、血管、リンパ：産婦人科（胎児循環・分娩他） 3) 免疫：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 4) 循環器系：心臓外科病棟（BLS, バイタルサイン、トリアージ他） 5) 脳・神経：脳神経外科（瞳孔の見方他） 6) ホルモン：消化器内科（採血他） 7) 運動器：整形外科（包帯法、車椅子、杖、止血法） 8) 消化器：消化器内科（聴診器、輸血、食事介助、手浴、足浴他） 9) 呼吸器：呼吸器内科（酸素、吸引、食事介助他） 10) 泌尿器：泌尿器科（バルンカテーテルの取り扱い他） 11) 感覚器系：精神科（コミュニケーション、幻聴体験他）				演習						
13～14回 1年団	看護介護技術体験教室				発表						
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院										
評価方法	筆記試験（配点50点）・演習内容と発表（体験教室）・出席点										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数					
科目名	生化学	長町榮子	1年次	単位数	1単位				
				時間数	30時間				
教育目標	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝について学習する、								
講義回数	講義内容		備考						
1~4回	I. 生体を構成する物質 1. 生化学を学ぶ基礎知識 2. 等質 3. 脂質 4. タンパク質 5. 核酸 6. 水と電解質 7. 血液と尿 8. ホルモンと生理活性物質		講義						
5~11回	II. 生体内の物質代謝 1. 代謝のあらまし 2. 酵素 3. ビタミンと補酵素 4. 等質代謝 5. 脂質代謝 6. タンパク質代謝 7. 核酸代謝 8. ポルフィリン代謝 9. 代謝の異常		講義						
12~14回	III. 遺伝情報とその出現 1. 遺伝情報 2. 先天性代謝異常		講義						
15回	終講試験		試験						
使用テキスト	生化学 メディカ出版								
評価方法	筆記試験								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数			
科目名	臨床栄養学	春名美智子	1年次	単位数 1単位			
				時間数 15時間			
教育目標	人間にとての栄養の意義を理解し食事療法の基礎を学習する。						
講義回数	講義内容		備考				
1回	1. 食生活と栄養食事療法 2. 医療・福祉の場における栄養食事療法 3. 病人食の特徴と種類		講義				
2回	4. 循環器疾患患者の食事療法 5. 消化器疾患患者の食事療法		講義				
3回	6. 腎疾患患者の食事療法 7. 栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法		講義				
4回	8. 血液疾患患者の食事療法 9. 精神・神経疾患患者の食事療法		講義				
5回	10. 術前術後の栄養管理 11. 妊産婦・更年期・小児疾患患者の食事療法		講義				
6回	12. 高齢者の食事療法		講義				
7回	13. 医療保障制度・介護保険制度と食事		講義				
8回	終講試験		試験				
使用テキスト	栄養食事療法 足立香代子他著 医学書院						
評価方法	筆記試験						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数					
科目名	薬理学	豊村隆男	1年次	単位数	1単位				
				時間数	30時間				
教育目標	薬物の特性、作用機序、人体への影響および薬物の管理について薬理学の基礎を学習する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	薬理学総論① 薬物治療の目指すもの			講義					
2回	薬理学総論② 薬理作用と薬物動態			講義					
3回	薬理学総論③ 薬の有害作用と管理			講義					
4回	抗感染症治療薬			講義					
5回	抗がん薬・免疫治療薬			講義					
6回	抗アレルギー薬・抗炎症薬			講義					
7回	末梢神経作用薬			講義					
8回	中枢神経作用薬①			講義					
9回	中枢神経作用薬②			講義					
10回	循環器系治療薬①			講義					
11回	循環器系治療薬②			講義					
12回	呼吸器系・消化器系・生殖器系治療薬			講義					
13回	代謝系治療薬・皮膚科用薬			講義					
14回	眼科用薬・漢方薬・救急・消毒薬・輸液輸血			講義					
15回	まとめ 終講試験			試験					
使用テキスト	系看専門基礎5 大鹿英世著書 薬理学 医学書院								
評価方法	終講試験と授業態度（中間小テスト含む100点満点）								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床薬理	森本 宏	薬剤師	2年次	単位数	1 単位
教育目標					時間数	15時間
講義回数	講義内容		備考			
1回	1. 医薬品総論 ・与薬方法と生体の変化 ・医薬品の適正な使用について				講義	
2回	2. 生活習慣病に使用する薬				講義	
3回	3. 癌・痛みに使用する薬				講義	
4回	4. 感染症に使用する薬				講義	
5回	5. 脳・中枢神経系疾患で使用する薬				講義	
6回	6. 救命救急時に使用する薬				講義	
7回	7. アレルギー ・免疫不全状態の患者に使用する薬 ・消化器系疾患に使用する薬				講義	
8回	8. 終講試験				試験	
使 用 テキスト	古川裕之、他編著疾 病の成り立ち一臨床薬理学 メディカ出版					
評価方法	終講試験(ペーパーテスト100点満点)					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時間	単位数	
科目名	微生物学	山田 陽一	1年次	単位数	1 単位
教育目標	微生物が起こす感染症を取り巻く状況はめまぐるしく変化している。従来の感染症だけでなく、日和見感染や新しく出現する可能性のある感染症への対策も不可欠である。微生物の基礎はもとより、感染症予防など、さまざまな感染症対策に対応できる知識を身につけることを目的とする。				時間数 30時間
講義回数	講義内容				備考
1回	微生物学の基礎				講義
2回	細菌の性質				講義
3回	真菌の性質・原虫の性質・ウイルスの性質				講義
4回	微生物感染の機構				講義
5回	感染に対する生体防御機構 1				講義
6回	生体防御機構 2、感染源・感染経路からみた感染症				講義
7回	感染症の予防、感染症の検査と診断				講義
8回	感染症の治療 1				講義
9回	感染症の治療 2、感染症の現状と対策				講義
10回	病原細菌と細菌感染症 1				講義
11回	病原細菌と細菌感染症 2				講義
12回	病原細菌と細菌感染症 3、病原真菌と真菌感染症				講義
13回	病原原虫と原虫感染症、ウイルス感染症				講義
14回	ウイルス感染症 2				講義
15回	まとめ 試験				試験
使用テキスト	微生物学 医学書院				
評価方法	小テストによる理解度、最終試験成績で判定する。(100点満点)				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	病理学総論	景山甚郷	医師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	15時間					
教育目標	疾病の原因と疾病による形態的・機能的变化についての基礎を学習し、病態生理・治療への学習の基礎につなげる。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	I. 病理学で学ぶこと 1. 病理学とは 2. 病気の原因 3. 疾病の分類				講義						
2回	II. 先天異常と遺伝子異常 1. 先天異常とは 2. 遺伝子の異常				講義						
3回	III. 代謝障害 1. 細胞の損傷と適応 2. 物沈着 3. 脂質代謝障害と疾患 4. タンパク質代謝障害と疾患 5. 糖質代謝障害と疾患 6. その他の代謝障害と疾患				講義						
4回	IV. 循環障害 1. 循環器系の概要 2. 局所性の循環障害 3. 全身性の循環障害 4. リンパの循環障害				講義						
5回	V. 炎症と免疫 1. 炎症 2. 炎症の各期 3. 免疫 4. アレルギーと自己免疫 5. 移植と免疫				講義						
	VI. 感染症 1. 病原体と感染症 2. 宿主の防御機構 3. おもな病原体と感染症 4. 感染症の治療 5. 感染症の予防				講義						
6回	VII. 腫瘍 1. 腫瘍の定義と分類 2. 腫瘍の発生病理 3. 悪性腫瘍の転落と進行癌 4. 腫瘍の診断と治療 5. 腫瘍の統計				講義						
7回	VIII. 老化と死 1. 細胞の損傷と適応老化と固体の変化 2. 加齢に伴う諸臓器の変化 3. 固体の死				講義						
8回	終講試験				試験						
使用テキスト	阪本 穆彦著 病理学 医学書院										
評価方法	筆記試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	病理学Ⅰ (呼吸器・循環器)	豊田真也 津島義正	看護師 医師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	呼吸器・循環器疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1～7回	1. 呼吸器系疾患の病態・診断・治療 1) 呼吸器系の構造と機能 2) 症状とその病態生理 • 咳・喀痰・胸痛・呼吸困難 3) 検査と治療・処置 「検査」・喀痰検査・胸水検査・生検 「治療・処置」・人工呼吸療法・気道確保・胸腔ドレナージ 4) 疾患の理解 • 感染症・気道疾患・肺血栓塞栓症・呼吸不全・肺腫瘍				講義						
8～14回	2. 循環器系疾患の病態・診断・治療 1) 循環器の構造と機能 2) 症状とその病態生理 • 胸痛・動悸・浮腫・チアノーゼ・失神 3) 検査と治療・処置 「検査」・心電図・心エコー・心臓カテーテル・動脈血ガス分析 「治療・処置」・心臓カテーテル治療・ペースメーカー・外科的治療 4) 疾患の理解 • 虚血性心疾患・心不全・不整脈・弁膜症・心膜炎・血圧異常				講義						
15回	3. 単位認定試験・まとめ				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	病理学Ⅱ (消化器・内分泌)	真鍋康二 景山甚郷	医師 医師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	消化器・内分泌疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
	【消化器】 1回 口腔・食道の疾患 2回 胃の疾患 3回 腸・腹膜の疾患 4回 肝臓・胆管・胆嚢の疾患 5回 肝臓・短管・胆嚢の疾患 6回 膵臓の疾患 7回 消化器疾患のまとめ										
	【内分泌】 8回 ホルモンとホメオスタシス 9回 下垂体の疾患 10回 甲状腺の疾患 11回 副甲状腺の疾患 12回 副腎の疾患 13回 脇島の疾患 14回 性腺・消化管ホルモン 15回 単位認定試験										
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 医学書院										
評価方法	出席状況・単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	病理学III (腎泌尿器・脳神経)	瀧 正史 中嶋裕之 岸本佳子	医師 医師 看護師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	30時間					
教育目標	腎泌尿器・脳神経疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1～5回	1. 腎・泌尿器疾患の病態・診断・治療 1) 腎・泌尿器の構造と機能 ・腎の構造と機能　・尿管の構造と機能　・男性生殖器の構造と機能 2) 症状とその病態生理 ・排尿の異常　・浮腫　・尿毒症 3) 検査と治療・処置 「検査」・腎機能検査 「治療・処置」・透析療法　・腎移植 4) 疾患の理解 ・腎不全　・原発性糸球体腎炎　・全身性疾患による腎障害 ・尿路・性器の感染症				講義						
6～14回	2. 脳神経疾患の病態・診断・治療 1) 脳の解剖整理 2) 症状と病態整理 ・意識障害　・能機能障害　・運動機能障害 ・反射性運動の障害　・頭蓋内圧亢進　・髄膜刺激症状 3) 検査 ・神経学的検査　・自律神経機能検査 4) 疾患の理解(症状・治療・処置を含む) ・脳疾患　・脊髄疾患　・抹消神経疾患　・てんかん　・痴呆				講義						
15回	3. 単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野II 腎・泌尿器 成人看護学⑧ 医学書院 系統看護学講座 専門分野II 脳神経 成人看護学⑦ 医学書院										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	病理学IV (運動・血液造血器)	江草真 近藤敏範	医師 医師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	運動器・血液造血器疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1~7回	1.運動器疾患の病態・診断・治療 1)運動器の構造と機能 ・骨　・間接　・神経と筋肉　・腱と靭帯 2)症状とその病態生理 ・疼痛・形態の異常　・関節運動の異常 ・異常歩行または跛行　・神経の障害 3)検査と治療・処置 2. 検査　・画像検査　・MRI　・関節造影検査 ・骨密度の測定　・関節鏡検査 3. 治療・処置　・保存療法　・理学療法　・手術療法 4. 疾患の理解 ・先天性疾患　・骨折　・脱臼　・骨　・関節の炎症性疾患 ・骨腫瘍　・麻痺性疾患　・脊髄の疾患				講義						
8~14回	5. 血液、造血器系疾患の病態・診断・治療 1)血液の生理と造血のしくみ 2)症状とその病態生理 「治療・処置」・輸血・造血腫瘍治療の基本理念 3)疾患の理解 ・赤血球系の疾患・白血球系の疾患・リンパ網内系の疾患・出血性疾患				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野II 成人看護学 運動器⑩ 医学書院										
	系統看護学講座 専門分野II 成人看護学 血液・造血器④ 医学書院										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数					
科目名	病理学V (アレルギー・感覚器)	清水一紀 白藤宜紀 伊丹雅子・中村和博 江谷 勉 渡邊達夫	2年次	単位数	2単位				
				時間数	30時間				
教育目標	アレルギー膠原病・感覚器疾病の原因と治療、疾病による形態的、機能的变化について学習する。								
講義回数	講義内容			備考					
1~6回	1. アレルギー・膠原病・感染症 ・呼吸器・消化器のアレルギー ・薬物のアレルギー・アナフィラキシー ・自己免疫疾患について ・主な感染症の診断と治療			講義					
7回	終講試験 1 時間			試験					
8~9回	2. 皮膚の構造と機能 ・湿疹、蕁麻疹、白斑、腫瘍 ・ハンセン病・蕩疹・水痘症・膿痘症			講義					
10~11回	3. 眼の疾患と病理 ・眼球・眼底の構造 ・眼の主な疾患と治療法 結膜炎、角膜ヘルペス、網膜はく離、緑内障、白内障			講義					
12~13回	4. 耳鼻咽喉 ・耳の疾患と構造 外耳の疾患、内耳の疾患、中耳の疾患 ・鼻腔・副鼻腔・喉頭の構造と機能 ・鼻腔・副鼻腔・喉頭の疾患			講義					
14~15回	5. 齒・口腔の疾患と構造 ・歯痛・歯の欠損・咬合異常・歯の腫瘍 ・歯・歯肉の診察と検査 ・歯の治療・処置 抜歯、補綴、ブリッジ、インプラント義歯			講義					
16回	終講試験 1 時間			試験					
使用テキスト	医学書院. 系看 専門 NO15~19、成人看護学NO11~15 (眼・皮膚・アレルギー・耳鼻咽喉・歯 口腔) メディカルフレンド社. 新体系. 看護学全書NO…22、26、27 成人看護学NO…9、13、14								
評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) 100点満点								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	医療安全	小川修一	看護師	3年次	単位数	1単位					
					時間数	20時間					
教育目標	「人はなぜ間違いをおくのか」、対象の「いのち」を護る看護者が身につけておかなければならない医療安全の必要性と知識を理解する。そして、看護者自身の「いのち」も共に守らなければならぬことを理解する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	1. 入門医療安全 1) 人はなぜ間違いをおくのか 2) 意識状態の変動と医療安全を学ぶことの意義 3) 人間の3つの行動モデルと医療安全を学ぶことの意義 4) 看護職を選ぶことの重さと安全努力の責務				講義						
2回	2. 事故防止の考え方を学ぶ 1) 医療事故と看護業務 2) 看護事故の構造 3) 看護事故防止の考え方				講義						
3回	3. 診療の補助の事故防止 1) 患者に与薬する業務における事故防止 2) 継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止				講義						
4回	4. 療養上の世話の事故防止 1) 事故の発生要因と事故防止の2つの視点				講義						
5回	5. 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 1) 業務領域をこえて共通する患者間違い 2) 間違いを誘発する多重課題、タイムプレッシャーと業務途中の中止 3) 新人特有の危険な思い込みと行動パターン				講義						
6回	6. 医療安全とコミュニケーション				講義						
7回	7. 看護師の労働安全衛生上の事故防止				講義						
8回	8. 組織的な安全管理体制への取り組み				講義						
9回	9. 自分の傾向と対策				講義						
10回	10.まとめ 終講試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院 医療安全ワークブック 医学書院										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	公衆衛生学	小寺良成	医師	2年次	単位数	2単位			
					時間数	30時間			
教育目標	地域社会で生活する人々の健康の保持・増進を図る上での基本概念を理解し組織的な保健活動について学習する。								
講義回数	講義内容				備考				
1回	1. 公衆衛生の基礎(理念と看護の倫理)				講義				
2回	2. 健康と環境(疥癬・食中毒)				講義				
3回	3. 公衆衛生の技術				講義				
4回	4. 社会保障制度と医療制度の改革				講義				
5回	5. 地域保健(地域差と今後の課題)				講義				
6回	6. 母子保健(虐待・DV)				講義				
7回	7. 生活習慣病:癌				講義				
8回	8. 生活習慣病:循環器系				講義				
9回	9. 老人保健(転倒・せん妄)				講義				
10回	10. 精神保健				講義				
11回	11. 感染症(MRSA・O157)				講義				
12回	12. 結核・HIV危機管理				講義				
13回	13. 学校保健(夜型生活・不登校・いじめ)				講義				
14回	14. 産業保健(過労死)				講義				
15回	15. 定期試験				試験				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院								
評価方法	定期試験に1口問題の解答を加味して総合的に評価する。(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	総合医療論	景山甚郷	医師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	15時間					
教育目標	保健・医療・福祉における人間と医療の原点や変遷、人間尊重と生命倫理や保健医療福祉のあり方について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	医学・医療の歩み(I ~VI)				講義						
2回	健康と疾病①(I ~ II)				講義						
3回	健康と疾病②(III ~)				講義						
4回	医学と医療(I ~ III)				講義						
5回	わが国の医療供給体制(I ~ III)				講義						
6回	現代医療における諸問題①(I ~ II)				講義						
7回	現代医療における諸問題②(III ~ V)				講義						
8回	終講試験				試験						
使用テキスト	メヂカルフレンド社 現代医療論 小阪寿徳著										
評価方法	単位認定試験										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	社会福祉	本山喜朗	福祉施設長	2年次	単位数	2単位			
					時間数	30時間			
教育目標	社会福祉と医療・社会保障の関連と社会資源活用について学習する。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	I. 社会保障制度と社会福祉 1) 社会保障制度 2) 社会福祉法制度				講義				
3~4回	II. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向				講義				
5~6回	III. 医療保障				講義				
7回	IV. 介護保険				講義				
8回	V. 所得保障				講義				
9回	VI. 公的扶助				講義				
10~11回	VII. 社会福祉の分野とサービス				講義				
12~13回	VIII. 社会福祉実践と医療。看護				講義				
14回	IX. 社会福祉の歴史				講義				
15回	まとめ・終講試験				試験				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 医学書院								
評価方法	筆記試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定期	単位数		
科目名	関係法規	品川勝彦	3年次	単位数 1 単位		
				時間数 15時間		
教育目標	1. 保健・医療・看護に必要な関係法規を学び、看護業務や法的内容を理解する。 2. 法のしくみや行政について理解し、保健・医療・看護に関する法規について理解する					
講義回数	講義内容		備考			
1回	I. 法の基礎知識		講義			
2回	II. 医事法 1. 保健師助産師看護師法 2. 医師法 3. 医療法など		講義			
3回	III. 薬務法 1. 薬事法 2. 薬剤師法 3. 麻薬及び向精神薬取締法など		講義			
4~5回	IV. 保健衛生法 1. 地域保健法 4. 母子保健法		2. 母体保護法 5. 老人保健法 3. 精神保健福祉法 6. 学校保健法	講義		
6回	V. 環境法					
7回	VI. 労働基準法			講義		
8回	VII. テスト ペーパーテスト			試験		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院					
評価方法	筆記試験(100点満点)					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	看護学概論	行光美音子	看護師	1年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	看護全般の概念を捉え、看護師としての知識・技術・態度の根幹を自覚し、保健・医療・福祉チームの一員としての役割を学習する。また、看護の対象の命を護るために必要な看護倫理について考え続けることができる。								
講義回数						備考			
1回	1. 看護とは 1)看護の原点 2)看護の定義 3)看護の役割と機能 4)看護の継続性と情報共有					講義			
2～3回	2. 看護の対象の理解 1)人間の「こころ」と「からだ」 2)対象理解に役立つさまざまな理論と看護理論 3)人間の「暮らし」の理解					講義			
4～7回	3. 国民の健康・生活者の全体像 1)健康とはなにか 2)国民の健康の全体像 3)日本人のライフサイクルと生活・健康					講義			
8～10回	4. 看護の提供者 1)職業としての看護 2)看護職の養成制度と就業状況 3)看護職の養成制度の課題					講義			
11～12回	5. 看護における倫理 1)現代社会と倫理 2)医療をめぐる倫理 3)看護実践における倫理問題への取り組み					講義、GW			
13～14回	6. 看護の提供のしくみ 1)サービスとしての看護 2)看護サービス提供の場 3)看護をめぐる制度と政策 4)医療安全					講義			
15回	単位認定試験 課題1. テーマ「ナイチングールの考える看護の本質」 用紙A4 2,000字以上 課題2. テーマ「ヘンダーソンの考える看護の基本」 用紙A4 2,000字以上								
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅰ看護学概論 医学書院 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 看護の基本となるもの ヘンダーソン著 日本看護協会出版会 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 フローレンス・ナイチングール著 日本看護協会出版会								
評価方法	単位認定試験と課題により総合評価とする(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	臨床看護総論	大西信子	看護師	1年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	健康上のニーズと健康障害に対して、主な特徴に対する看護援助の方法を学習する。								
講義回数	講義内容					備考			
1～3回	I. 健康状態の経過に基づく看護 1. 健康状態と看護 2. 健康の維持・増進を目指す看護の特徴 3. 急性期・慢性期・リハビリテーション期・終末期における看護					講義			
4～10回	II. 主要な症状を示す対象者への看護(呼吸・循環・認知・知覚) 1. 酸素吸入療法 酸素吸入療法の基礎知識・援助の実際 2. 吸引 吸引の基礎知識(一時的吸引・持続吸引)と実際の援助 3. 排痰ケア 排痰ケアの基礎知識・体位ドレナージ・スカイージング 4. 検体検査・生体情報のモニタリング 5. 検体検査 6. 生体情報のモニタリング(心電図・SPO2・血液ガス分析) 7. 意識レベルの評価(JCS・GCS) 8. 認知機能・感覚機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助					講義			
11～14回	III. 治療・処置を受ける対象者への看護 1. 輸液療法を受ける対象者への看護 2. 化学療法を受ける対象者への看護 3. 放射線療法を受ける対象者への看護 4. 身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 (血液検査・穿刺液検査・内視鏡検査・X線・CT・MRI検査・IVR・血管造影)					講義			
15回	まとめ 単位認定試験					試験			
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ								
評価方法	単位認定試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	看護研究Ⅰ	水越スミコ	看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	20時間					
教育目標	看護研究に取り組むうえでの基礎的な考え方を理解し、研究目的を明らかにしながら研究計画書を作成する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	看護研究の概要				講義						
2~4回	研究上の問い合わせの立て方				講義						
5回	文献の検索と研究デザイン				講義						
6回	研究の進め方				講義						
7~9回	研究計画書の作成				講義						
10回	研究計画書の発表について				講義						
使用テキスト	早川和生著『JINスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方』医学書院、2018										
評価方法	研究計画書、出席状況、授業態度において評価(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	基礎看護学方法論Ⅰ (感染・創傷管理)	歳森亜貴子 大西信子	看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位		
教育目標	標準予防策を学び、正しく実践できるようにする。 感染経路別予防策を学び、適切に実践できるようにする。 創傷とその治癒のメカニズムを知り、治癒のためにどのような環境が必要か理解する。 包帯法の基礎を理解し、その方法を学ぶ。 褥瘡発生の機序とアセスメント方法を理解し、予防方法の援助について学ぶ。							
講義回数	講義内容				備考			
1~8回	I. 看護技術とは II. 感染防止の技術 <ul style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の基礎知識 2. 標準予防策(スタンダードプリコーション) <ul style="list-style-type: none"> ・衛生学的手洗い(手指消毒) ・個人防護用具 3. 感染経路別予防策 <ul style="list-style-type: none"> ・接触予防策 ・飛沫予防策 ・空気予防策 4. 洗浄・消毒・滅菌 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の取り扱いなど 5. 無菌操作 <ul style="list-style-type: none"> ・無菌操作 ・滅菌手袋、滅菌ガウンの着脱 6. 感染性廃棄物の取り扱い <ul style="list-style-type: none"> ・バイオハザードマーク 7. カテーテル関連血流感染対策 8. 針刺し防止策 <ul style="list-style-type: none"> ・針刺し防止 ・針刺し後の対応 				演習			
9~14回	III. 創傷管理技術 <ul style="list-style-type: none"> 1. 創傷管理の基礎知識 2. 創傷処置 <ul style="list-style-type: none"> ・創洗浄と創保護 ・テープによる皮膚障害 ・包帯法 3. 褥瘡予防 <ul style="list-style-type: none"> ・援助の基礎知識 ・援助の実際 				演習			
15回	IV. 単位認定試験				試験			
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座：基礎看護技術Ⅰ（看護技術・感染防止の技術） 基礎看護技術Ⅱ（創傷管理技術） 学研 看護技術プラクティス							
評価方法	単位認定試験・実技試験(100点満点)							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	基礎看護学方法論Ⅱ (バイタルサイン)	柳林 ルミ子	看護師	1年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	看護の対象把握するための基本的な技術を習得する。								
講義回数	講義内容				備考				
1~3回	ヘルスアセスメント ヘルスアセスメントの意義と目的 ヘルスアセスメントに必要な技術(問診, 視診, 觸診, 聴診, 打診)				演習				
4~6回	ヘルスアセスメントの実際 バイタルサインの観察とアセスメント(体温, 脈拍)				演習				
7~9回	ヘルスアセスメントの実際 バイタルサインの観察とアセスメント(呼吸, 血圧, 意識)				演習				
10回	フィジカルアセスメント 頭頸部, 呼吸器系, 循環器系乳房・腋窩, 腹部, 筋骨格系, 神経系				演習				
11~13回	ヘルスアセスメントの実際(体温, 脈拍, 呼吸, 血圧, 意識)				演習				
14回	身体測定 身長, 体重, BMI, 皮下脂肪厚, 腹囲				演習				
15回	単位認定試験				試験				
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ メディックメディア 看護がみえるフィジカルアセスメント 学研 看護技術プラクティス第4版								
評価方法	単位認定試験 実技試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定時期	単位数			
科目名	基礎看護学方法論III (環境・安楽確保)	木村匡弘 岸本佳子	看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位		
教育目標	生活の場である環境の意義を理解し、対象の健康レベルやニーズに応じた環境を整えることができる。対象の安楽に対する援助技術を学習する。							
講義回数	講義内容				備考			
1~6回	I. 環境調整技術の概要と目的 1. 環境調整の意義 2. 臨床環境調整 1) 援助の基礎知識 • 療養生活環境 • 病室環境のアセスメントと調整 2) 援助の実際 • ベッド周囲の環境整備 • 病床を整える ベッドメイキング リネン交換・就床患者のシーツ交換				演習			
7~10回	II. 活動・休息援助技術 1. 活動・休息の援助とは 2. 基本的活動の援助 1) ポディメカニクス 2) 体位 3) 体位変換 4) 褥瘡好発部位 5) 移動（車椅子・ストレッチャー） 6) 移乗・移送				演習			
11回	3. 睡眠・覚醒の援助 1) 援助の基礎知識 2) 援助の実際 3) 睡眠・休息の援助				演習			
12~13回	III. 苦痛の緩和・安楽確保の技術 1. ポジショニング 1) 援助の基礎知識 2) 援助の実際 2. 罫法 1) 罫法の基礎知識 2) 罫法の実際の援助				演習			
14回					演習			
15回	単位認定試験				試験			
使用テキスト	医学書院・基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③							
評価方法	単位認定試験 実技試験（100点満点）							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野 I	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	基礎看護学方法論IV (食事・排泄)	岸本佳子 水越スミコ	看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位
教育目標	1. 栄養と食生活の意義について理解し、対象に応じた食事の援助ができる。 2. 排泄の意義を理解し、対象に応じた排泄の援助ができる。					
講義回数	講義内容					備考
1回	1. 栄養と食生活の意義 ・栄養のアセスメント 栄養と食事に関する基礎知識 ・嚥下のメカニズムについて					演習
2回	2. 食事介助					演習
3回	3. 食事介助					演習
4回	4. 非経口的栄養摂取の援助 ・PEG・中心静脈栄養法・経鼻経管栄養法 低栄養状態の看護					演習
5回	5. 経鼻経管栄養法 演習					演習
6回	6. 排泄の意義 ・排泄に関する基礎知識 自然排尿及び自然排便の介助 ・排便を促す援助 浸脹 ・ 摘便					演習
7回	7. おしめ交換					演習
8回	8. 床上排泄の介助(尿器・便器)					演習
9回	9. 導尿の意義 ・導尿の種類と方法					演習
10回	10. 一時的導尿					演習
11回	11. 持続的導尿					演習
12回	12. 排便障害の看護 ・浣腸・摘便・ストーマケア ・便秘のアセスメント					演習
13回	13. グリセリン浣腸					演習
14回	14. まとめ					講義
15回	15. 終講試験					
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術 I メディックメディア 看護がみえるフィジカルアセスメント 学研 看護技術プラクティス第4版					
評価方法	単位認定試験 実技試験(100点満点)					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	基礎看護学方法論V (清潔)	青木久美子	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	1. 清潔の意義を理解し、対象に応じた食事の援助ができる。 2. 活動・休息の意義を理解し、対象に応じた援助技術を身につける。										
講義回数	講義内容				備考						
1~10回	I. 清潔・衣生活の援助 1、清潔・衣清潔の援助とは、 2、清潔の援助 1)援助の基礎知識 2)清潔援助の実際 3)入浴・シャワー 4)全身清拭 5)洗髪 6)足浴・フト・ケア 7)陰部洗浄 8)洗面 9)眼・耳・鼻の清潔 10)整容 11)口腔ケア				演習						
11~14回	II. 病床の衣生活の援助 1、衣生活援助の基礎知識 2、衣生活援助の実際 1)病衣の選び方 2)病衣・寝衣の交換				演習						
15回	III. 単位認定試験				試験						
使用テキスト	医学書院 統一看護学講座 基礎看護技術Ⅰ メディックメディア 看護がみえるフィジカルアセスメント 学研 看護技術プラクティス第4版										
評価方法	単位認定試験・実技試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	基礎看護学方法論VI (与薬)	歳森亜貴子	看護師	1年次	単位数 1単位				
					時間数 30時間				
教育目標	診療補助としての与薬の技術を学習し、安全に実施できる。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	I. 与薬の技術 1) 与薬の基礎知識 2) 経口与薬 3) 吸入 4) 点眼 5) 点鼻 6) 経皮的与薬 7) 直腸内与薬 8) 注射の基礎知識 9) 皮下注射 10) 皮内注射 11) 筋肉内注射 12) 静脈内注射(点滴静脈内注射・中心静脈カテーテル留置) 13) 輸液ポンプ・シリンジポンプ 14) 静脈血採血			演習					
2回				演習					
3回				演習					
4回				演習					
5~11回				演習					
12回				演習					
13~14回				演習					
15回	II. 単位認定試験			試験					
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 学研 看護技術プラクティス								
評価方法	単位認定試験 実技試験(100点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	基礎看護学方法論VII (看護過程)	久保美紀	看護師	2年次	単位数	2単位			
					時間数	45時間			
教育目標	看護問題解決過程の基本を理解し、科学的根拠に基づいて実践する思考力と判断力を養う。								
講義回数	講義内容				備考				
1回目	1. 看護過程とは				講義				
2～9回	2. 看護過程の展開 1) アセスメント ・情報収集 ・情報の解釈・分析 ・問題の明確化 ・問題の優先順位				講義				
10～13回	2) 計画立案 ・目標の設定 ・看護計画の具体策 OP, TP, EP				講義				
14～16回	3) 実施・実践 4) 評価				講義				
16～21回	3. 事例展開				講義、GW				
21～22回	4. 評価				講義				
使用テキスト	藤崎郁 著：系統看護学講座 専門2 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I 医学書院								
評価方法	単位認定試験、演習課題(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	成人看護学概論	久保美紀	看護師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	30時間					
教育目標	成人各期にある対象を成長発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。成人期にある対象の健康に影響する因子を理解し、疾病の予防と健康を維持増進する為の看護を学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	1. 成人期にある人の看理解 2. 成長発達の特徴				講義						
2回	3. 身体機能の特徴と看護										
3回	4. 病人の生活を理解する視点と方法										
4回	5. やせ願望についての発表										
5回	5. 健康観の多様性と看護 6. 学習の特徴と看護										
6回	7. 生活習慣に関する健康障害 8. 自己効力										
7回	9. 職業に関連する健康障害 10. 生活ストレスに関連する健康障害										
8~9回	11. ストレス 12. 危機 13. 適応										
10回	14. セクシュアリティに関する健康障害										
11回	15. セクシュアリティに関する健康障害										
12回	16. 余暇活動に伴う健康障害 17. 更年期に見られる健康障害										
	18. ヘルスプロモーション										
13回	19. 病みの軌跡										
14回	20. セルフケア										
15回	21. まとめ単位認定試験										
使用テキスト	成人看護学1 成人看護学概論 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	成人看護学方法論 I (呼吸器・循環造血器)	横谷弘子	看護師	2年次	単位数 1単位 時間数 30時間			
教育目標	成人期にある、呼吸器・循環造血器・疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。							
講義回数	講義内容		備考					
1~3回	1. 呼吸器疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 ①咳嗽・喀痰なる患者の看護②血痰・喀血③胸痛④呼吸困難 2) 検査を受ける患者の看護 ①内視鏡②肺組織の生検 3) 治療・処置を受ける患者の看護 ①吸入療法を受ける患者の看護②酸素療法 ③人工呼吸器を装着する患者 ④呼吸困難気管切開を受ける患者の看護 ⑤胸腔ドレナージを受ける患者の看護 ⑥手術を受ける患者の看護①開胸術		講義					
4~7回	4) 疾患を持つ患者の看護 ①肺炎患者の看護②結核③気管支喘息④慢性閉塞性肺疾患 ⑤肺血栓塞栓症⑥急性呼吸促迫症候群⑦睡眠時無呼吸症候群 ⑧肺がん⑨自然気胸		講義					
8~11回	2. 循環器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の特徴と疾病の経過 3) 症状別看護(胸痛・浮腫・チアノーゼなど) 2. 検査を受ける患者の看護 1) 心臓カテーテル検査・心電図検査・運動負荷試験 2) 血行動態モニタリング(スワンガントカテーテル・動脈ライン・CVPライン) 血液ガス分析 3. 治療・処置を受ける患者の看護 1) 薬物療法 2) 開心術(術前・術後・回復期) 術式による観察ポイントや補助循環装置について		講義					
12~14回	4. 疾患をもつ患者の看護 1) 急性冠症候群(ACS)患者の看護 2) 心不全・血圧異常・不整脈患者の看護 5. 心臓リハビリテーションと看護 1) 循環器疾患患者看護のまとめ(科目テスト対策) 2) 看護場面のグループワーク 6. 血液・造血器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴と看護の役割 2) 血液の生理と造血のしくみ・検査と病態生理 7. 血液・造血器疾患患者の看護 1) 看護場面のグループワーク 2) 血液・造血器疾患患者看護のまとめ(科目テスト対策)		講義					
15	単位認定試験		試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 呼吸器 成人看護学② 医学書院 系統看護学講座 専門分野 循環器 成人看護学③ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 血液造血器 成人看護学④ 医学書院							
評価方法	単位認定試験(100点満点)							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	成人看護学方法論Ⅱ (消化器・内分泌)	廣田江梨子 長尾雅子	看護師 看護師	2年次	単位数 1 単位 時間数 30時間
教育目標	成人期にある、消化器・内分泌疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。				
講義回数	講義内容				備考
1回	I . 消化器疾患における手術療法を受ける患者の看護 1. 消化器患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の役割・疾患の経過と看護 2. 消化器の構造と機能				講義
2回	3. 患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療・処置を受ける患者の看護 4) 疾患の看護 ①胃十二指腸・腸・腹膜疾患患者の看護 ②肝臓・胆嚢・膵臓疾患患者の看護				講義
3~9回	II . 内分泌疾患患者の看護 1. 内分泌疾患患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護 2) 甲状腺疾患患者の看護 3) 副甲状腺疾患患者の看護 4) 副腎疾患患者				講義
10~12回	2. 代謝疾患患者の看護 1) 糖尿病患者の看護 2) 脂質異常症患者の看護 3) 肥満症患者の看護 4) 尿酸代謝患者の看護				講義
13~14回	III. 単位認定試験				試験
15回					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 消化器 成人看護学② 医学書院 系統看護学講座 専門分野 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 医学書院				
評価方法	単位認定試験(100点満点)				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	成人看護学方法論Ⅲ (腎泌尿器・脳神経・アレルギー)	守屋由美子 高津真由美 田村幸二 佐々江真奈美	看護師 看護師 看護師 看護師	2年次	単位数 1 単位 時間数 30時間			
教育目標	成人期にある、腎泌尿器・脳神経・アレルギー疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。							
講義回数	講義内容		備考					
1~2回	I. 腎・泌尿器疾患患者の看護 1. 症状に対する看護 浮腫・高血圧・排尿障害・尿失禁・尿の正常異常・疼痛 2. 検査を受ける患者の看護 3. 内科治療を受ける患者の看護 (1)治療処置を受ける患者の看護 (2)疾患を持つ患者の看護 (3)透析治療を受ける患者の看護		講義					
3回	II. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護 1)処置を受ける患者の看護 2)手術を受ける患者の看護 3)薬物療法を受ける患者の看護 4)放射線療法を受ける患者の看護 腎移植を受ける患者の看護		講義					
4~5回	III. 脳神経疾患患者の看護 1)症状・障害を持つ患者の看護 ①意識障害②運動失調・不随意運動のある③言語障害 ④排尿障害⑤運動麻痺⑥筋力低下⑦痙攣⑧頭蓋内圧亢進症状 ⑨嚥下障害⑩呼吸障害⑪感覺障害⑫認知症⑬褥創の予防		講義					
6回	2)治療処置を受ける患者の看護 ①開頭術を受ける患者の看護 ②内科的治療を受ける患者の看護 ③化学療法・放射線療法を受ける患者の看護		講義					
7回	3)疾患を持つ患者の看護 ①脳梗塞②パーキンソン③筋萎縮性側索硬化症 ④進行性筋ジストロフィー症⑤髄膜炎⑥脳腫瘍 ⑦クモ膜下出血⑧下垂体⑨頭部外傷		講義					
8~10回	IV. アレルギー疾患患者の看護 1)症状に対する看護 2)検査を受ける患者の看護 3)治療を受ける患者の看護 4)疾患を持つ患者の看護		講義					
11回	II. 膜原病疾患患者の看護 1)症状に対する看護 2)検査を受ける患者の看護 3)治療を受ける患者の看護 4)疾患を持つ患者の看護		講義					
12~13回	III. 感染症疾患患者の看護 1)感染予防 2)症状に対する看護 3)検査・治療における看護 4)疾患を持つ患者の看護		講義					
14回	5)感染防御 単位認定試験		講義					
15回	試験							
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器 成人看護学⑧ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 脳神経 成人看護学⑦ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 アレルギー・膜原病・感染症 成人看護学⑪ 医学書院							
評価方法	単位認定試験(100点満点)							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	成人看護学方法論IV (運動器・女性生殖器)	花岡弘子 行光美音子	看護師 看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	成人期にある、運動器・女性生殖器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1～5回	I. 運動器疾患、患者の看護 1. 援助の為の主な知識と技術 2. 症状の対する看護 ①神經麻痺②循環障害とフォルクマン③疼痛 ④出血⑤感染⑥深部静脈血栓⑦褥創 3. 検査を受ける患者の看護①脊髄造営②関節造影検査 4. 保存療法を受ける患者の看護 ①ギプス固定をする患者の看護②副子固定③牽引療法 5. 手術を受ける患者の看護 ①運動器の手術を受ける患者の看護②手の腱の手術 ③脊椎固定術④質関節固定術 6. 経過に応じた患者の看護(急性、慢性、回復、終末期) 7. 疾患を持つ患者の看護 ①大腿骨頸部骨折②腰椎③脊髄損傷 ④骨髓腫瘍⑤腰痛を訴える患者				講義						
6回					講義						
7回					講義						
8～9回					講義						
10～11回	II. 女性生殖器系の病態・診断・治療 1. 女性生殖器の構造と機能 ・女性生殖器の解剖 ・女性生殖機能の生理 2. 症状とその病態生理 ・出血 ・帶下 ・外陰部瘙痒感 ・不定愁訴 3. 検査と治療・処置 「検査」 ・理学的検査 ・病理検査 「治療・処置」 ・コルポスコピード ・薬物療法 ・手術療法				講義						
12回					講義						
13～14回	4. 疾患の理解 ・子宮の疾患 ・卵巣の疾患 ・月経異常 ・不妊症 ・乳がん				講義						
15回	III. 単位認定試験 筆記試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 運動器 成人看護学⑩ 医学書院 新体系 看護学全書 成人看護学⑩ 女性生殖器 メディカルフレンド社										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	成人看護学方法論V (終末期・緩和ケア)	武田明 松本晃美 佐藤玲奈	医師 看護師 看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	終末期にある人の緩和ケアやがん患者の看護実践をする為に必要な基礎的知識と技術を学ぶ										
講義回数	講義内容				備考						
1回	緩和ケアの歴史と現状				講義						
2回	チームアプローチ・緩和ケアの考え方				講義						
3~8回	緩和ケアにおける看護介入				講義						
	身体的ケア										
	精神的ケア										
	社会的ケア										
9回	スピリチュアルケア				講義						
10~11回	緩和ケアにおける倫理的課題				講義						
12回	家族ケア				講義						
13~14回	死の看取り技術 死後の処置				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院										
評価方法	筆記試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	成人看護学方法論VI (周手術期の看護)	津島義正 岸本佳子	医師 看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	周手術期の治療に於ける知識技術を学ぶ。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	I. 外科患者の病態の基礎 1.外科患者のアセスメント 2.手術侵襲と生体の反応 3.炎症・感染症・腫瘍・外傷とショック				講義						
2~3回	II.外科的治療を支える分野、 1.麻酔法呼吸管理体液、栄養管理輸血療法 緩和医療外傷とショック				講義						
4~5回	III.外科的治療の実際、 1.外科的基本主義 2.創傷管理 3.低侵襲治療 4.臓器移植				講義						
6~7回	IV.救急看護の基礎、 1.救急処置法の実際 2.救急医療の現状				講義						
8回	V.今日の外科看護の特徴と課題 1.外科看護とは・外科看護の役割と課題 2.外科看護の流れと要点				講義						
9回	VI.看護を取り巻く法的環境 1.看護業務に関する法的問題・医療に関連する法的・倫理的問題				講義						
10回	VII.周手術期看護の概論 1.手術を受ける患者の状況・チーム医療と看護師の役割 2.インフォームドコンセント・周手術期における安全管理 3.院内感染				講義						
11~12回	VIII.手術前患者の看護 1.外来診療の変化に対応した外来看護師の役割 2.外来における手術前患者の看護 3.術前の具体的援助 4.日帰り手術を受ける患者の看護、				講義						
13~14回	IX.手術中患者の看護 1.手術中の看護の要点・手術室における看護の展開 2.手術室の環境管理 X.手術後患者の看護				講義						
15回	XI.集中治療を受ける患者の看護 XII.単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	老年看護学概論	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	健康な高齢者の特徴や加齢による身体的・精神的・社会的側面の変化が、生活にどのように影響しているかを理解し、老年看護に必要な知識を学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1, 2回	1. 老いるということ、老いを生きるということ 老年看護の入り口 「老いる」ということ 老いを生きるということ				講義 ビデオ:老化とは						
3回	2. 高齢者疑似体験、GW				講義						
4回	3. 高齢者疑似体験GW発表、まとめ、老年看護のなりたち				祖父母のライフイベント作成						
5回	4. 高齢者のヘルスアセスメント ヘルスアセスメントの基本				講義						
6回	5. 身体の加齢変化とアセスメント 皮膚とその付属器、視聴覚とその他の感覚、運動器系、ホルモンの分泌				講義						
7回	6. 循環器系				講義						
8回	7. 呼吸器系				講義						
9回	8. 消化器系				講義						
10回	9. 超高齢社会と社会保障 10. 超高齢社会の統計的輪郭				講義 ビデオ:もっと知りたい						
11回	11. 高齢社会における保健医療福祉の動向				介護保健						
12回	12. 高齢者の権利擁護				ビデオ:身体拘束0作戦 DVD:成年後見制度						
13回	13. エンドオブライフケア エンドオブライフケアの概念、「生きる」ことを支えるケア				講義						
14回	14. 意思決定への支援、末期段階に求められる援助				講義						
15回	15. まとめ、単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学										
評価方法	筆記試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	老年看護学方法論 I (基本技術と演習)		看護師	2年次	単位数	1 単位					
教育目標	老年看護の特徴を理解し、その人らしい生活を支えるための基礎的な、日常生活援助の方 法を習得する。					時間数	30時間				
講義回数	講義内容					備考					
1回	1. 老年看護学概論の復習 老年のイメージ・疑似体験より老年期とは・高齢者の特徴 高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動					講義					
2回	2. 高齢者の生活機能を整える看護 転倒のアセスメントと看護、廃用症候群のアセスメントと看護					講義					
3回	3. 食事・食生活 高齢者における食生活の意義、高齢者に特徴的な変調					講義					
4回	4. 食生活のアセスメント、食生活の支援					講義					
5回	5. 食事介助					講義					
6回	6. 排泄 高齢者の排泄ケアの基本、排尿障害のアセスメントとケア 排便障害のアセスメントとケア					講義					
7回	7. 清潔 清潔の意義、高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題					講義					
8回	8. 生活リズム 清潔のアセスメント、清潔の援助					講義					
9回	9. コミュニケーション 高齢者とのコミュニケーションと関わり方の原則 コミュニケーション能力のアセスメント 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法					講義					
10回	10. セクシュアリティー、社会参加 高齢者におけるセクシャリティー 高齢者ケアの場における性に関する問題 セクシュアリティーのアセスメント 社会参加 高齢化の現状と目ざす社会の方向性 地域における高齢者の社会参加					講義					
11回	11. 生活療養の場における看護 高齢者とヘルスプロモーション 保健医療福祉施設および住居施設における看護					講義					
12回	12. 生活療養の場における看護 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 家族への援助、多職種連携実践による活動					講義					
13回	13. 高齢者のリスクマネージメント 高齢者と医療安全、高齢者と救命救急、高齢者と災害					講義					
14回	14. まとめと終講試験										
使　用 テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 生活機能から老年看護過程第3版 医学書院 カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術第2版										
評価方法	筆記試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	老年看護学方法論Ⅱ (高齢者の健康障害時の看護)	近藤末美	看護師	2年次	単位数 2単位 時間数 30時間
教育目標	高齢者に多い疾患と主要症状を理解し、老年者の健康障害の程度に応じた援助方法を習得する。				
講義回数	講義内容			備考	
1~2回	1. 認知症と看護 1)認知症の概念 2)認知症の症状				講義
3回	2. 精神・神経疾患の看護				講義
4回	3. 循環器系の疾患の看護				講義
5回	4. 呼吸器系の疾患の看護				講義
6回	5. 消化器系の疾患の看護				講義
7回	6. 内分泌・代謝系の疾患の看護				講義
8回	7. 膜原病				講義
9回	8. 血液疾患の看護				講義
10回	9. 腎・泌尿器の疾患の看護				講義
11~12回	10. 運動器の疾患の看護				講義
13~14回	11. 皮膚の疾患 12. 感覚器の疾患の看護 13. 歯の疾患の看護 14. 感染症				講義
15回	まとめ・終講試験				試験
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論				
評価方法	筆記試験(100点満点)				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	小児看護学概論	中本洋美	看護師	1年次	単位数 1単位				
					時間数 30時間				
教育目標	子どもと家族の看護の概念と意義を理解し、子どもの特徴および成長発達過程と、日常生活援助および健康増進の援助を理解し、小児看護の目的と役割を学習する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目ざすところ 2) 小児と家族の諸統計			講義					
2回	2. 小児の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の進み方			講義					
3~4回	3. 新生児・乳児 1) 新生児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴 2) 乳児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴			講義					
5回	4. 幼児・学童 1) 幼児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴 2) 学童 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴			講義					
6~7回	5. 思春期・青年期の小児 (1) 形態的特徴 (2) 生理的特徴			講義					
8~9回	6. 家族の特徴とアセスメント			講義					
10~11回	7. 小児と家族を取り巻く社会 (1) 小児をめぐる法律と政策 (2) 学校保健			講義					
12~13回	8. 小児のアセスメント (1) アセスメントに必要な技術 (2) 身体的アセスメント			講義					
14回	9. まとめ 終講試験			試験					
使 用 テキスト	系看 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ								
評価方法	筆記試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	小児看護学方法論Ⅰ	瀧 正史 虫明亨祐	医師 医師	2年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	健康問題・障害を持つ小児特有の症状と病態およびその治療について学習する。								
講義回数	講義内容				備考				
1回	先天異常				講義				
2回	代謝性疾患・内分泌				講義				
3回	免疫・アレルギー疾患				講義				
4回	感染症				講義				
5回	呼吸器疾患				講義				
6回	循環器疾患				講義				
7回	消化器疾患				講義				
8回	血液・造血器疾患と悪性新生物				講義				
9回	腎・泌尿器疾患				講義				
10回	神経疾患				講義				
11回	運動器疾患・皮膚疾患				講義				
12回	眼疾患・耳鼻咽喉疾患				講義				
13回	精神疾患				講義				
14回	子供の事故・虐待				講義				
15回	まとめ 単位認定試験				試験				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院								
評価方法	単位認定試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	小児看護学方法論Ⅱ	千田京子 片山裕美	看護師 看護師	2年次	単位数	2単位					
					時間数	30時間					
教育目標	あらゆる健康レベルの子どもと家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	1. 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 1) 疾病・障害が小児と家族に与える影響 2) 小児の健康問題と看護				講義						
2~4回	2. 小児における疾病的経過と看護 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周手術期の小児と家族の看護 4) 終末期の小児と家族の乱後				講義						
5~7回	3. 症状を示す小児の看護 1) 一般状態 2) 痛み 3) 呼吸・循環系の症状 4) 発熱 5) 消化器症状 6) 水分・電解質異常 7) 血液 8) 神経・筋症状				講義						
8回	5. 検査・処置を受ける小児の看護				講義						
9~13回	6. 内分泌疾患と看護 7. 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護 8. 感染症と看護 9. 呼吸器疾患と看護 10. 循環器疾患と看護 11. 消化器疾患と看護 12. 血液造血器疾患と看護 13. 腎泌尿器疾患と看護 14. 運動器疾患と看護 15. 事故・外傷と看護 16. 子供の虐待と看護				講義						
14回					講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院 写真でわかる 小児看護技術アドバンス ～小児看護に必要な臨床技術を中心に～ インターメディカ										
評価方法	単位認定試験 授業態度(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	母性看護学概論	川西久枝	助産師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	母性看護の基盤となる概念を学び、母性看護の機能と役割を理解する。また、母性の健康維持・増進・疾病予防に必要な援助内容と方法について理解する。										
講義回数	講義内容				備考						
1~2回	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母性とは 2) 母子関係と家族発達 3) セクシュアリティ 4) リプロダクティブヘルス/ライフ 5) ヘルスプロモーション 6) 母性看護のあり方 7) 母性看護における倫理 8) 母性看護における安全・事故予防				講義・GW						
3回	2. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1) 母性看護の歴史的変遷 2) 母性看護の対象を取り巻く環境				講義						
4~5回	3. 母性看護の対象理解 1) 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 2) 女性のライフサイクルと家族 3) 母性の発達・成熟・継承				講義						
6~7回	4. 母性看護に必要な看護技術 1) 母性看護における看護過程 2) 情報収集・アセスメント技術 3) 母性看護に使われる看護技術				講義						
9~10回	5. 女性のライフステージ各期における看護 1) ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2) 思春期の健康と看護 3) 成熟期の健康と看護 4) 更年期の健康と看護 5) 老年期の健康と看護				講義						
11~13回	6. リプロダクティブヘルスケア 1) 家族計画 2) 性感染症とその予防 3) HIVに感染した女性に対する看護 4) 人工妊娠中絶と看護 5) 喫煙女性の健康と看護 6) 性暴力を受けた女性に対する看護 7) 児童虐待と看護 8) 国際化社会と看護				講義						
14回	7. 母性看護における倫理				講義・GW						
15回	8. 終講試験				試験						
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院										
評価方法	終講試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数					
科目名	母性看護学方法論Ⅰ	高橋澄子	助産師 2年次	単位数	1単位					
				時間数	30時間					
教育目標	1. 妊娠・分娩・産褥の生理的な経過とその診断、検査について学習する。 2. 妊婦・産婦・褥婦の生理的な身体的変化とハイリスク状態について学習する。									
講義回数	講義内容				備考					
1回	遺伝相談 不妊治療 妊娠期の身体的特性 分娩の要素 分娩の経過 産褥経過 妊娠の異常 分娩期の異常				講義					
11回	産褥期の異常				講義					
12回	精神障害合併妊婦				講義					
13回	新生児の生理				講義					
14回	新生児の異常				講義					
15回	まとめ 終講試験				試験					
使用 テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 写真でわかる母性看護技術…褥婦・新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう！… インターメディカ									
評価方法	単位認定試験(100点満点)									

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	母性看護学方法論Ⅱ	秋山真穂	助産師	2年次	単位数	2単位					
					時間数	30時間					
教育目標	妊娠・産婦・褥婦・新生児の生理的変化について理解し、あらゆる健康レベルの母子とその家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	母性の発揮を促す看護				講義						
2回	妊娠期における看護①				講義						
3回	妊娠期における看護②				講義						
4回	妊娠期における看護③				講義						
5回	妊娠期における看護④				講義						
6回	分娩期における看護①				講義						
7回	分娩期における看護②				講義						
8回	分娩期における看護③				講義						
9回	新生児期における看護①				講義						
10回	新生児期における看護②				講義						
11回	産褥期における看護①				講義						
12回	産褥期における看護②				講義						
13回	産褥期における看護③				講義						
14回	産褥期における看護④				講義						
15回	まとめ・終講試験				試験						
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 写真でわかる母性看護技術…褥婦・新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう！… インターメディカ										
評価方法	出席状況、単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	1年次						
科目名	精神看護学概論 (精神保健を含む)	小川修一	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	心の発達と心の健康に関する要因および心の健康の維持・増進のために必要な知識を学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	精神看護学の目的とカリキュラムの変遷 精神看護学の考え方				講義						
2回	心の健康とその考え方				講義						
3回	精神障害者の理解				講義						
4回	精神医療の歴史				講義						
5回	心の構造 フロイト(心的構造, 局所論, 発達論)				講義						
6～7回	ライフサイクルと精神保健(乳幼児の発達課題と危機)				講義						
8回	ライフサイクルと精神保健(幼児期の発達課題と危機)				講義						
9回	ライフサイクルと精神保健(学童期の発達課題と危機)				講義						
10回	ライフサイクルと精神保健(思春期の発達課題と危機)				講義						
11回	ライフサイクルと精神保健(成人期・老年期の発達課題と危機)				講義						
12～13回	生活の場と精神保健(家庭・学校・職場)				講義						
14回	リエゾン精神医学とリエゾン精神看護				講義						
15回	まとめ 単位認定試験				試験						
使用テキスト	新体系 看護学全書34 精神看護学① 精神看護学概論精神保健 メジカルフレンド社										
評価方法	筆記試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	精神看護学方法論Ⅰ (障害をもつ人の理解)	都筑豊	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	精神障害の原因・症状について理解し、検査・治療の方法について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	精神障害の主な検査と治療法 診断の基礎と要点(観察, 間診, 既往歴, 生活歴, 家族歴)				講義						
2~5回	検査の種類 神経学的検査(脳波検査, 髄液検査) 心理検査(知能テスト, 人格検査, 記憶力検査など)				講義						
	各種治療法 薬物療法, 電気痙攣療法, 社会復帰療法, 精神療法										
6~9回	主な精神障害の診断 主な精神障害 統合失調症, 躁鬱病, 心因反応, 人格障害, 器質性精神障害 児童・思春期の主な精神障害				講義						
10~11回	精神障害者の抱える症状の理解 精神症状 精神症状の種類(知覚の障害, 思考の障害, 自我意識の障害など) 状態像(不安状態, 心気状態, 幻覚妄想状態, 抑うつ状態, 混迷など)				講義						
12~14回	中枢神経症状 神経症状の識別 中枢神経症状の種類				講義						
15回	まとめ 単位認定試験				試験						
使用テキスト	新体系 看護学全書35 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅱ	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	精神看護学方法論Ⅱ (障害をもつ人の看護)	水越スミコ	看護師	2年次	単位数	2単位					
					時間数	30時間					
教育目標	心の健康に問題をもつ人とその家族を理解し、対象に応じた看護ができるための基礎的な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	精神障害の理解 精神医療の歴史 精神障害者の現状				講義						
2回	精神障害者の理解 精神疾患のとらえかた				講義						
3回	患者家族の心理とその援助				講義						
4回	不安状態・心気状態の患者の看護				講義						
5回	幻覚・妄想状態の患者の看護				講義						
6回	強迫症状・パニック症状のある患者の看護				講義						
7回	自発的減退(自閉症状)昏迷状態の患者の看護				講義						
8回	てんかん痙攣発作時・拒絶のある患者の看護				講義						
9回	アルコール・薬物依存患者の看護				講義						
10回	躁鬱病患者の看護				講義						
11回	パーソナリティ障害者の看護				講義						
12回	アルツハイマー病・脳血管性認知症患者の看護				講義						
13回	精神科リハビリテーションの展開				講義						
14回	ロールプレイとプロセスレコード				講義						
15回	まとめ 単位認定試験				試験						
使用テキスト	新体系 看護学全書35 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	在宅看護概論	清水久子	看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	1. 在宅で生活しながら療養する人々とその家族を理解し在宅における看護の基礎を学習する。 2. 他職種と協働するための看護の役割と責任について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1~3回	1. 在宅看護の歴史と現状 ・欧米における訪問看護活動 ・日本における在宅看護の歴史 ・在宅看護が必要とされる社会背景				講義						
4~6回	2. 在宅療養者の権利保障 ・人権の尊重と権利性・成年後見 ・在宅看護と倫理性・虐待 ・社会的機能としての看護の責務				講義						
7~9回	3. 在宅における看護活動 ・地域ケアシステムの活用・連携の実際 ・訪問看護ステーションの設置と管理運営				講義						
10~12回	4. 在宅看護の特徴 ・医療施設看護との比較 ・在宅看護設立の条件 ・在宅看護の基本理念				講義						
13~14回	5. 在宅療養者と家族 ・家族とは 家族機能 ・家屋の変遷 ・家族をとらえる視点				講義						
15回	6. まとめ 終講試験				試験						
使用テキスト	地域療養を支えるケア 在宅看護論 メディカ出版 櫻井尚子編										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	在宅看護方法論Ⅰ (在宅における看護技術)	宇野百合子	看護師	2年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	在宅で療養する人々の日常生活援助と診療介助技術を習得する。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	1. コミュニケーション技術 •療養者、家族や関係職種と信頼関係を作る力 •面接技術 •看護介入技術 2. 観察技術 •情報収集力、社会資源の最新情報を把握する力 •生活の視点を含む観察、判断、幅広い知識 3. 日常生活援助技術 •食の援助 清潔の援助 移動の援助 援助の基本とは何か •排泄の援助 服薬の管理 呼吸の援助 リハビリテーションの援助 4. 処置に伴う援助・補助技術 ①症状・状態別の看護 ②特殊な技術を伴う看護 在宅酸素療法 CAPD療法 ストーマケア 褥創 経管栄養 在宅中心静脈栄養の援膀胱留置カテーテルの援助 吸引吸入 気管切開口のケア 自己導尿 在宅人工呼吸療法の援助				講義				
3~4回					講義				
5~6回					講義				
7~9回					講義				
10~12回	5. 療養環境の工夫 •居室環境の整備 •他の福祉サービスと社会資源の利用 •介護力の活用(意欲・時間・判断・技術など)				講義				
13~14回	6. 在宅における終末期の看護 •在宅ターミナルケアの視点 •在宅ターミナルケアの流れ •症状コントロールの実際 •看取りヒグリーフケア				講義				
15回	7. まとめ 終講試験				試験				
使用テキスト	①地域療養を支えるケア 在宅看護論 メディカ出版 櫻井尚子 ②写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ								
評価方法	筆記試験(100点満点)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	在宅看護方法論Ⅱ (在宅看護のマネージメント)	森安香緒里 豊岡泰衣 安井智子	看護師 看護師 看護師	2年次	単位数	2単位					
					時間数	30時間					
教育目標	在宅看護は他の健康医療福祉チームと協働して働きかけるので看護の役割と責任を十分理解し、他のチームとマネージメントできる知識を学習する。 社会資源の活用方法について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	I 関係職種と社会資源 1. 在宅看護における法規(関係法規)と関係職種 ・保健師助産師看護師法・医療法 ・関係法規、関係機関と職種、業務				講義						
2~3回	2. 在宅看護における経済的側面と倫理的課題への対応 ・在宅看護にかかわる診療報酬の概要 ・在宅看護にかかわる診療報酬とそれらが算定される看護場面				講義						
4~6回	3. 訪問看護師の医療行為 ・看護師の業務 ・訪問看護師の医療行為と看護判断基準の必要性				講義						
7~8回	4. 関係職種と連携するための技術 ・社会資源およびシステムの概要を理解する ・在宅看護の立場から論理的にケースを検討できること ・ケアマネジメント・ケアコーディネーション				講義						
9回	5. ケアマネージャーについて ・介護保険法の中の在宅看護の位置づけ ・介護支援専門員について ・居宅サービス計画の事例 ・介護保険法をふまえて看護職がなすべきこと				講義						
10~12回	II 在宅看護における倫理的課題 ・在宅看護場面における倫理的課題 ・倫理的課題への訪問看護師の対応 ・訪問看護における倫理的課題への対応モデル ・訪問看護における医療過誤の保障				講義						
13~14回	III 看護過程【事例展開】				講義						
15	まとめ 単位認定試験				試験						
使用テキスト	①地域療養を支えるケア 在宅看護論 メディカ出版 櫻井尚子 ②写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ										
評価方法	単位認定試験(100点満点)										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	災害医療と国際協力	石井敦子 内門弘子	看護師 助産師	3年次	単位数	1単位		
教育目標	災害医療・国際看護活動を学ぶことにより命の大切さを実感し演習を通して専門職としての看護の役割を認識する機会とする。							
講義回数	講義内容							
1回	1. 災害看護を学ぶ目的・意義について				講義			
2回	2、災害医療の基礎知識							
3回	3. 災害看護の基礎知識							
4回	4. 災害のサイクルに応じた活動現場の看護							
5回	5、災害看護のマネージメント							
6回	6. トリアージ							
7回	7、災害とこころのケア							
8回	8、災害看護活動の課題							
9回	9、地震災害看護の展開	まとめ・試験						
10～12回	1. 国際救援活動における看護							
	1) 国際救援の定義							
	2) 国際救援活動の基本理念							
	3) 近年の世界における災害と 国際救援活動の現状と課題							
	4) 国際救援活動における看護の役割							
13～14回	2. 国際看護学							
	1) 看護とグローバリゼーション							
	2) 国際看護とはなにか							
	3) 開発と健康							
	4) 保健医療の国際協力							
15回	まとめ・試験							
使用テキスト	系統看護学講座 災害看護・国際看護学 医学書院							
評価方法	ペーパー試験と演習により総合評価する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	看護管理	原節子	看護師	3年次	単位数 1単位			
					時間数 15時間			
教育目標	看護サービスを提供していくための看護管理の概念を学び、看護の提供システム、看護サービスの質保証や人材育成、制度を学ぶ。							
講義回数	講義内容				備考			
1回	1. 看護管理学とは ①看護管理の定義・概念・要素・場							
2回	2. 看護におけるマネジメント ①考え方と変遷 ②これからのかの看護職にもとめられるマネジメント							
3回	3. 看護ケアのマネジメント看護職の機能 ①看護ケアのマネジメントとプロセス・機能 ②看護ケアを提供される者としての機能							
4回	4. 患者権利の尊重 ①患者権利 ②インフォームドコンセント ③意志決定の支援							
5回	5. 安全管理 ①しきみ ②医療事故対策 ③院内感染対策 ④災害の予防と対応							
6回	6. チーム医療 ①チーム医療とは・機能 ②看護職の責任と役割 ③多職種との連携・協働							
	7. 看護業務の実践 ①クリティカルパス・情報活用 ②看護政策の決定過程							
7回	8. 看護職のキャリアとマネジメント 9. 看護サービスのマネジメント							
	10. マネジメントに必要な知識と技術							
	11. 看護を取り巻く諸制度							
8回	終講試験							
使用テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院							
評価方法	筆記試験							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	講義予定期	単位数			
科目名	看護研究Ⅱ	木村匡弘	3年次	単位数	2単位		
				時間数	45時間		
教育目標	看護における研究の必要性を理解し、看護研究を通して研究の過程が理解できる。 看護研究の実際を行い、研究成果を発表することができる。 研究成果を論文にまとめることができる。						
講義回数	講義内容				備考		
1回	看護研究の概要				演習		
2回	研究上の問い合わせの立て方				演習		
3回	研究の進め方				演習		
4~5回	研究計画書の作成				演習		
6回	事例研究の演習（論文の書き方のきまり）				演習		
7~9回	事例研究の演習（研究計画書の作成）				演習		
10~13回	事例研究の演習（ゼミ） 事例研究の演習（ゼミ） 事例研究の演習（ゼミ）				演習		
14回	事例研究の演習（論文の作成）				演習		
15~22回	看護研究の発表				演習		
使用テキスト	早川和生著 JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方』医学書院、2018						
評価方法	研究発表(100点満点)						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	統合分野	講師名	講義予定期	単位数			
科目名	統合技術Ⅰ (診療補助技術)	柳林ルミ子 原節子	2年次	単位数 1単位			
				時間数 30時間			
教育目標	臨地実習に向けて看護の対象者や医療者の安全を守るために看護技術が安全に実践できる						
講義回数	講義内容		備考				
1回	臨地実習に向けてグループ毎に事例展開を行い、必要な看護ケア技術を考え演習する 看護事例について情報収集		評価表				
2回	事例についてアセスメント						
6回							
7回	計画立案						
8回							
9回	計画立案に基づく看護ケアの演習						
11回							
12回							
14回	看護ケア実技評価						
15回	まとめ						
使用テキスト	事例提示資料						
評価方法	評価表に基づく到達度評価						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	フレッシャーズセミナー	水越スミコ	看護師	1年次	単位数 1 単位			
					時間数 20時間			
教育目標	看護職に求められる能力・役割を理解し、看護学生としての姿勢を学ぶとともに、看護師として必要な人間関係を形成するコミュニケーション能力を高める							
講義回数	講義内容				備考			
1回	看護とは ・看護倫理とは				講義			
2回	学科説明・カリキュラム説明				講義			
3回	看護の基礎的能力について				講義			
4回	シラバス・講義・実習・認定試験について				講義			
5回	学校見学・クラス交流				見学・交流			
6回	学校見学・クラス交流				見学・交流			
7回	就職活動について				講義			
8回	バディ・クラス交流会				交流			
9回	私の目指す看護師像準備・発表				講義・発表			
10回	私の目指す看護師像準備・発表				講義・発表			
11回	勉強の方法について				講義			
12回	記録の書き方（レポート）				講義			
13回	実習室・白衣の意味について				講義			
14回	地域見学・清掃等ボランティア活動				課外講義			
15回	単位認定試験				試験			
使用テキスト	学生便覧、教育計画							
評価方法	終講試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	心理学	流王治郎	臨床 心理士	1年次	単位数	1 単位	
教育目標	心の働きのメカニズムを学び、臨床心理における人間行動を理解する上での手がかりとし、看護実践に役立てる。					時間数	30 時間
講義回数	講義内容					備考	
1～3回	心理学の概要 心理学の沿革 精神活動の理解					講義	
4～6回	精神活動の心理 記憶と知能の心理 感情と性格の心理					講義	
7～9回	人間理解の心理 行動からの人間理解 発達からの人間理解 適応からの人間理解					講義	
10～12回	コミュニケーション 人間関係の心理 人間関係の形成 非言語的コミュニケーション					講義	
13～14回	福祉と臨床 相談機関の種類 問題行動のメカニズム カウンセリングと心理治療 まとめ					講義	
15回	単位認定試験					試験	
使用 テキスト	講義ノート 心理学 一人間関係論一 流王治郎著						
評価方法	単位認定試験, 受講態度, 出席状況						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数					
科目名	フローレンス・ナイチンゲール論	柳林ルミ子	看護師	2年次	単位数	1 単位				
教育目標	ナイチンゲールの生涯、看護理論を通じ、現代的課題を学ぶ。									
講義回数	講義内容				備考					
1回	ナイチンゲールとは					講義・GW				
2回	ナイチンゲールの時代					講義・GW				
3回	ナイチンゲールの子どもの頃					講義・GW				
4回	ナイチンゲールの苦悩					講義・GW				
5回	クリミア戦争と社会					講義・GW				
6回	ナイチンゲールのグラフ					講義・GW				
7回	ナイチンゲールの果たした役割 (ナイチンゲール看護覚え書)					講義・GW				
8回	グループ発表準備					発表準備				
9回	グループ発表					発表				
10回	単位認定試験					試験				
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 看護学概論 看護覚え書きフロレンス・ナイチンゲール									
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する									

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	アクティビティワーカー	青木久美子	看護師	1年次	単位数 1単位						
		茅原久栄 久保美紀	音楽療法士 看護師		時間数 30時間						
教育目標	1. アクティビティワーカーの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術を学ぶ。 2. 音楽を取り入れ、音楽の持っている力を臨床の場に活用できるように学ぶ。										
講義回数	講義内容				備考						
1	音楽とは				講義・演習						
2	音楽と生活										
3	音楽の有効性				講義・演習						
4	音楽療法とは										
5	受動的音楽療法				講義・演習						
6	能動的音楽療法										
7	臨床での生活と音楽				講義・演習						
8	今日の社会と社会福祉の動向										
9	人間の尊厳と自立				講義・演習						
10	ライフスタイル、生活様式の多様な変化										
11	コミュニケーション レクリエーションからアクティビティへ				講義・演習						
12	アクティビティサービスの理念とその特徴										
13	専門職とその役割。専門職としての人権尊重				講義・演習						
14	援助の体系と連携 生活史と文化										
15	単位認定試験										
使用テキスト	新訂アクティビティ・サービス ～心身と生活の活性化を支援する～ 中央法規出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	人体のしくみと働き I (脳神経・運動器)	岸本佳子 三浦綾	看護師 医師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	20 時間					
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回～5回	【神経系】 神経系の分類 神経組織の構造と機能 中枢神経系 末梢神経系 生体のリズム 【感覚系】 感覚の特徴 視覚 听覚と平衡覚 化学的感覚（嗅覚と味覚） 体性感覚 内臓感覚 感覚系の成長と老化				講義						
6回～10回	【骨格系】 骨と骨格 頭蓋、体幹の骨格 体肢の骨格 関節の構造と種類 骨格系の成長と老化 【筋系】 筋の種類 筋の機能 身体の運動と骨格筋 骨格筋の解剖生理 筋系の成長と老化				試験						
11回	単位認定試験										
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	人体のしくみと働きⅡ (呼吸器・循環器)	森松賢順 高橋賢	医師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	20 時間					
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回～5回	【循環器系】 心臓 血管と循環 心臓、血管の成長と老化 リンパ系				講義						
6回～10回	【呼吸器系】 呼吸器系の構造と機能 呼吸のプロセス 呼吸の調節 呼吸器系の成長と老化				講義						
11回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	人体のしくみと働きⅢ (消化器・内分泌)	真鍋康二 景山甚郷	医師	1年次	単位数	1 単位			
					時間数	20 時間			
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。								
講義回数	講義内容				備考				
1回～5回	【消化器系】 食欲 咀嚼 嚥下 消化 吸收 排泄 消化器系の成長と老化					講義			
6回～10回	【内分泌系】 内分泌系とホルモン 脳にあるホルモン分泌器官 甲状腺 上皮小体 膵臓 副腎 性腺 古典的内分泌器官以外のホルモン分泌器官 内分泌系の成長と老化					講義			
11回	単位認定試験					試験			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	人体のしくみと働きIV (腎泌尿器・生殖器)	青木久美子 大西信子 大久保茂美	看護師 看護師 看護師	1年次	単位数 1 単位				
					時間数 20 時間				
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回～5回	【泌尿器系】 腎臓 尿管 膀胱 尿道 排尿の生理 泌尿器系の成長と老化			講義					
6回～10回	【生殖器系】 女性生殖器 男性生殖器			講義					
11回	単位認定試験			試験					
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版								
参考書	ナーシングサプリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	人体のしくみと働きV (アレルギー・造血液)	奥島和子 歳森亜希子	看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位					
					時間数	20 時間					
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1~5回	【血液】 血液の機能と成分 血球とその機能 血液型と輸血 血液の発生				講義						
6~10回	【免疫系】 免疫系のおおまかなしくみ 獲得免疫のしくみ 自然免疫系のしくみと獲得免疫系との関連 免疫系と感染症 アレルギーと自己免疫疾患				講義						
11回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版										
参考書	ナーシングサプリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	日常生活行動と機能	歳森亜貴子	看護師	1年次	単位数	1 単位	
					時間数	30 時間	
教育目標	解剖生理が日常生活行動にどのように作用しているかを学習し、看護技術に役立てる。						
講義回数	講義内容				備考		
1回～7回	1) 日常生活行動とは 2) 息をすること 3) 動くこと 4) 食べること 5) トイレに行くこと				講義		
8回～12回	解剖生理学を基礎とし、下記の内容に関連した看護技術演習の発表をおこなう。 1) 細胞・組織：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 2) 血液、血管、リンパ：産婦人科（胎児循環・分娩他） 3) 免疫：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 4) 循環器系：心臓外科病棟（BLS, バイタルサイン、トリアージ他） 5) 脳・神経：脳神経外科（瞳孔の見方他） 6) ホルモン：消化器内科（採血他） 7) 運動器：整形外科（包帯法、車椅子、杖、止血法） 8) 消化器：消化器内科（聴診器、輸血、食事介助、手浴、足浴他） 9) 呼吸器：呼吸器内科（酸素、吸引、食事介助他） 10) 泌尿器：泌尿器科（バルンカテーテルの取り扱い他） 11) 感覚器系：精神科（コミュニケーション、幻聴体験他）				演習		
13回～14回	看護介護技術体験教室				発表		
15回	単位認定試験				試験		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版						
参考書	ナーシングサプリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版						
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数							
科目名	臨床アセスメント論	小川修一	看護師	3年次	単位数	1 単位						
教育目標					時間数	15 時間						
講義回数	講義内容		備考									
1回	画像診断の原理 (XP・CT・MRI他)		講義									
2. 3回	胸部画像診断		講義									
4. 5回	腹部画像診断		講義									
6回	頭部画像診断		講義									
7回	整形画像診断		講義									
8回	単位認定試験		試験									
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 解剖生理学他 その都度指示する											
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する											

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定期	単位数						
科目名	臨床薬理	森本 宏	薬剤師	2年次	単位数	1 単位					
					時間数	15時間					
教育目標	薬物療法に伴う生態の変化の観察と薬物を看護職の視点から学習し、薬物管理の方法を学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	医薬品総論 • 与薬方法と生体の変化 • 医薬品の適正な使用について				講義						
2回	生活習慣病に使用する薬				講義						
3回	癌・痛みに使用する薬				講義						
4回	感染症に使用する薬				講義						
5回	脳・中枢神経系疾患で使用する薬				講義						
6回	救命救急時に使用する薬				講義						
7回	アレルギー • 免疫不全状態の患者に使用する薬 • 消化器系疾患に使用する薬				講義						
8回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち2 臨床薬理学 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数							
科目名	疾病・治療学 I (脳神経・運動器)	半田 明 江草 真	医師 医師	1 年次	単位数	1 単位						
					時間数	30時間						
教育目標	各疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。											
講義回数	講義内容				備考							
1回	1. 脳神経疾患の病態・診断・治療 1) 脳の解剖整理					講義						
2回・3回	2) 症状と病態整理 ・意識障害　・能機能障害　・運動機能障害 ・反射性運動の障害　・頭蓋内圧亢進　・髄膜刺激症状					講義						
4回・5回	3) 検査 ・神経学的検査　・自律神経機能検査					講義						
6回・7回	4) 疾患の理解 (症状・治療・処置を含む) ・脳疾患・脊髄疾患・抹消神経疾患・てんかん・認知症					講義						
8回・9回	1) 運動器の構造と機能 ・骨　・間接　・神経と筋肉　・腱と靭帯					講義						
10回	2) 症状とその病態生理 ・疼痛・形態の異常　・関節運動の異常 ・異常歩行または跛行　・神経の障害					講義						
11回	3) 検査と治療・処置					講義						
12回	2. 検査　・画像検査　・MRI　・関節造影検査 ・骨密度の測定　・関節鏡検査					講義						
13回	3. 治療・処置　・保存療法　・理学療法　・手術療法					講義						
14回	4. 疾患の理解 ・先天性疾患　・骨折　・脱臼　・骨　・関節の炎症性疾患 ・骨腫瘍　・麻痺性疾患　・脊髄の疾患					講義						
15回	単位認定試験・まとめ					試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 脳・神経 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 運動器 メディカ出版											
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する											

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	疾病・治療学Ⅱ (呼吸器・循環器)	豊田真也 津島義正	看護師 医師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	呼吸器・循環器疾患の原因と治療、疾患による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回 2. 3回 4. 5回	1. 呼吸器系疾患の病態・診断・治療 1) 呼吸器系の構造と機能 2) 症状とその病態生理 ・咳・喀痰・胸痛・呼吸困難 3) 検査と治療・処置 「検査」・喀痰検査・胸水検査・生検 「治療・処置」・人工呼吸療法・気道確保・胸腔ドレナージ 4) 疾患の理解 ・感染症・気道疾患・肺血栓塞栓症・呼吸不全・肺腫瘍				講義 講義 講義						
6. 7回 8回 9. 10回	2. 循環器系疾患の病態・診断・治療 1) 循環器の構造と機能 2) 症状とその病態生理 ・胸痛・動悸・浮腫・チアノーゼ・失神				講義 講義						
11. 12回	3) 検査と治療・処置 「検査」・心電図・心エコー・心臓カテーテル・動脈血ガス分析 「治療・処置」・心臓カテーテル治療・ペースメーカー・外科的治療				講義						
13. 14回	4) 疾患の理解 ・虚血性心疾患・心不全・不整脈・弁膜症・心膜炎・血圧異常				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 呼吸器メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 循環器メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	疾病・治療学Ⅲ (消化器・内分泌)	山本直樹 景山甚郷	医師 医師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	消化器・内分泌疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
	【消化器】 1回 口腔・食道の疾患 2回 胃の疾患 3回 腸・腹膜の疾患 4回 肝臓・胆管・胆嚢の疾患 5回 肝臓・胆管・胆嚢の疾患 6回 脾臓の疾患 7回 消化器疾患のまとめ										
	【内分泌】 8回 ホルモンとホメオスタシス 9回 下垂体の疾患 10回 甲状腺の疾患 11回 副甲状腺の疾患 12回 副腎の疾患 13回 膵島の疾患 14回 性腺・消化管ホルモン 15回 単位認定試験										
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 消化器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学IV (腎泌尿器・生殖器)	瀧 正史 青木久美子 大久保茂美 大西信子	医師 看護師 看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	腎泌尿器・脳神経疾患の原因と治療、疾患による形態的・機能的变化について学習する。					
講義回数	講義内容					備考
1. 2回	1. 腎・泌尿器疾患の病態・診断・治療 1) 腎・泌尿器の構造と機能 ・腎の構造と機能　・尿管の構造と機能　・男性生殖器の構造と機能					講義
3. 4回	2) 症状とその病態生理 ・排尿の異常　・浮腫　・尿毒症					講義
5. 6回	3) 検査と治療・処置 「検査」　・腎機能検査 「治療・処置」　・透析療法　・腎移植					講義
7. 8回	4) 疾患の理解 ・腎不全　・原発性糸球体腎炎　・全身性疾患による腎障害 ・尿路・性器の感染症					講義
9. 10回	性・生殖機能の障害					講義
11. 12回	性・生殖機能障害のある患者の看護					講義
13. 14回	乳癌					講義
15	単位認定試験					試験
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 女性生殖器 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	疾病・治療学V (アレルギー・膠原病・血液)	真鍋康二 近藤敏範	医師 医師	2年次	単位数	1 単位					
					時間数	30時間					
教育目標	アレルギー・血液造血器疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的变化について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1.2回 3.4回 5.6回 7回	1. アレルギー・膠原病・感染症 ・呼吸器・消化器のアレルギー ・薬物のアレルギー・アナフィラキシー ・自己免疫疾患について ・主な感染症の診断と治療				講義 講義 講義 講義						
8.9回 10.11回	2. 血液、造血器系疾患の病態・診断・治療 1) 血液の生理と造血のしくみ 2) 症状とその病態生理 「治療・処置」　・輸血・造血腫瘍治療の基本理念 4) 疾患の理解 ・赤血球系の疾患・白血球系の疾患・リンパ網内系の疾患・出血性疾患				講義 講義						
12~14回					講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	公衆衛生学	小寺良成	医師	2年次	単位数	2 単位
教育目標					時間数	30 時間
講義回数	講義内容		備考			
1回	公衆衛生の基礎	(理念と看護の倫理)				講義
2回	健康と環境(疥癬・食中毒)					講義
3回	公衆衛生の技術					講義
4回	社会保障制度と医療制度の改革					講義
5回	地域保健（地域差と今後の課題）					講義
6回	母子保健（虐待・DV）					講義
7回	生活習慣病：癌					講義
8回	生活習慣病：循環器系					講義
9回	老人保健（転倒・せん妄）					講義
10回	精神保健					講義
11回	感染症（MRSA・O157）					講義
12回	結核・HIV危機管理					講義
13回	学校保健（夜型生活・不登校・いじめ）					講義
14回	産業保健（過労死）					講義
15回	単位認定試験					試験
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 公衆衛生 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	社会福祉	本山喜朗	福祉施設長	2年次	単位数	2 単位
					時間数	30 時間
教育目標	社会福祉と医療・社会保障の関連と社会資源活用について学習する。					
講義回数	講義内容					備考
1. 2回	I. 社会保障制度と社会福祉 1) 社会保障制度 2) 社会福祉法制度					
3. 4回	II. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向					
5. 6回	III. 医療保障					
7回	IV. 介護保険					
8回	V. 所得保障					
9回	VI. 公的扶助					
10. 11回	VII. 社会福祉の分野とサービス					
12. 13回	VIII. 社会福祉実践と医療・看護					
14回	IX. 社会福祉の歴史					
15回	まとめ・終講試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 社会福祉と社会保障 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	看護学概論	都筑豊 久保美紀 大菅茂美	看護師	1年次	単位数 時間数 1単位 30時間				
教育目標	看護全般の概念を捉え、看護師としての知識・技術・態度の根幹を自覚し、保健・医療・福祉チームの一員としての役割を学習する。また、看護の対象の命を護り、生活を支えるために必要な看護倫理について考え続けることができる。								
講義回数									
1回	1. 看護とは 1) 看護の原点 2) 看護の定義 3) 看護の役割と機能 4) 看護の継続性と情報共有								
2. 3回	2. 看護の対象の理解 1) 人間の「こころ」と「からだ」 2) 対象理解に役立つさまざまな理論と看護理論 3) 人間の「暮らし」の理解								
4~7回	3. 国民の健康・生活者の全体像 1) 健康とはなにか 2) 国民の健康の全体像 3) 日本人のライフサイクルと生活・健康								
8~10回	4. 看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護職の養成制度と就業状況 3) 看護職の養成制度の課題								
11. 12回	5. 看護における倫理 1) 現代社会と倫理 2) 医療をめぐる倫理 3) 看護実践における倫理問題への取り組み								
13. 14回	6. 看護の提供のしくみ 1) サービスとしての看護 2) 看護サービス提供の場 3) 看護をめぐる制度と政策 4) 医療安全								
15回	単位認定試験 課題1. ナイチンゲールの考える看護 A4 1枚 A3 1枚 課題2. ヘンダーソンの考える看護 A4 1枚 A3 1枚								
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅰ 看護学概論 医学書院 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 看護の基本となるもの ヘンダーソン著 日本看護協会出版会 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 フローレンス・ナイチンゲール著 日本看護協会出版会								
評価方法	単位認定試験(筆記試験・課題で総合評価)								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	看護研究 I (看護研究とは)	水越スミコ	看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	20時間					
教育目標	看護研究に取り組むうえでの基礎的な考え方を理解し、研究目的を明らかにしながら研究計画書を作成する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	看護研究の概要				講義						
2回	研究上の問い合わせの立て方				講義						
3回	文献の検索と研究デザイン				講義						
4回	研究の進め方				講義						
5~7回	研究計画書の作成				演習						
8回~9回	研究計画書の発表				演習						
10回	終講試験				試験						
使用テキスト	『J J Nスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方』医学書院										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	基礎看護学方法論 I (基礎知識)	木村匡弘 中本洋美	看護師 看護師	1年次	単位数	2単位					
					時間数	60時間					
教育目標	医療におけるコミュニケーションの重要性、実践するための効果的な方法が理解できる。 感染予防・安全確保の基本を理解し、正しく実践することができる。 看護記録の目的と構成要素、問題解決過程の基本を理解することができる。 環境の意義がわかり、対象に応じた環境を整える基礎的知識が理解できる。 活動・休息支援の実際が理解できる。 救急救命処置の基礎知識と一次救命の実際が理解できる。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	I. 看護技術とは何か				講義						
2~4回	II. 人間関係を成立・発展させるための技術				講義・演習						
5~11回	III. 快適な環境をつくる技術				講義・演習						
12~18回	IV. 感染予防を推進する技術				講義・演習						
19~20回	V. 効率的で安楽な動きをつくり出す技術				講義・演習						
21回	VI. 活動・運動を支援する技術				講義・演習						
22回	VII. 休息・睡眠を促す技術				講義・演習						
23回	VIII. 体温を調節する技術				講義・演習						
24~25回	IX. 安楽かつ快適さを確保する技術				講義・演習						
26回	X. 安全を守る技術				講義・演習						
27~28回	XI. 救命救急処置を行う技術				講義・演習						
29回	V. 看護を展開する技術				講義・演習						
30回	X. 単位認定試験				筆記試験						
使用テキスト	• MCメディカ出版 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 • 学研 看護技術プラクティス										
評価方法	単位認定試験・出席日数・演習参加態度・レポート等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	基礎看護学方法論Ⅱ (日常生活の援助)	青木久美子 岸本佳子 水越スミコ	看護師 看護師 看護師	1年次	単位数	2単位					
					時間数	60時間					
教育目標	1. 栄養と食生活の意義について理解し、対象に応じた食事の援助ができる。 2. 排泄の意義を理解し、対象に応じた排泄の援助ができる。 3. 健康生活における身体の清潔の意義を理解し、清潔援助の必要性とその方法を判断できる。 4. 対象に応じた清潔援助技術が原則に基づき実施できる。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	食事・栄養の意義 食事に関する生理学的メカニズム 食事と栄養に関する基礎知識 栄養状態のアセスメント 食事・栄養に関する援助の実際 食事介助				講義						
2回	経管栄養法の援助 経鼻胃カテーテル法の援助 経静脈栄養法 経鼻経管栄養 経管栄養法				演習 講義						
3~6回					演習						
7回	排尿・排便の意義 排尿・排便の生理学的メカニズム 排尿・排便のニーズのアセスメント				講義						
8回	排尿・排便障害の種類（看護診断） 排尿・排便の援助 浣腸・摘便・ストーマケア				講義						
9回	おしめ交換 陰部洗浄				演習						
10回	導尿の意義 導尿の種類と方法				講義						
11回	一時的導尿				演習						
12回	持続的導尿				演習						
13回	グリセリン浣腸 ストーマケア				演習						
14回	まとめ				講義						
15回	終講試験				試験						
16回	清潔の意義・皮膚・粘膜のメカニズム 清潔行為とその影響・清潔のニーズ				講義						
17回	清潔のセルフケアに影響を与える要因				講義						
18~19回	身体各部のアセスメント 清潔援助技術に関する看護診断				講義・GW						
20回	清潔の援助方法：整容・口腔ケア・入浴・シャワー浴				講義						
21回	清潔の援助方法：整容・口腔ケア・入浴・シャワー浴				演習						
22~25回	清潔の援助方法：手浴・足浴・洗髪				講義・演習						
26~29回	清潔の援助方法：全身清拭・陰部洗浄・寝衣交換				講義・演習						
30回	終講試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ基礎看護技術Ⅱ 学研 看護技術プラクティス第4版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・演習参加態度・レポート等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	基礎看護学方法論III (診療の補助)	大西信子/ 松本廣美 歳森亜貴子	看護師 看護師	1年次	単位数 2単位				
					時間数 60時間				
教育目標	健康上のニーズと健康障害に対して、主な特徴に対する看護援助の方法を学習する。								
講義回数	講義内容			備考					
1. 2回	・無菌操作			講義・演習					
3回	・生体機能検査・医療機器			講義・演習					
4. 5回	・包帯法			講義・演習					
6. 7回	・酸素投与吸入療法			講義・演習					
8. 9回	・止血法・固定			講義・演習					
10回	・認知、知覚、BLS (JCS、GCS、心肺蘇生法)			講義					
11. 12回	・吸引、吸入			講義・演習					
13回	・化学療法、放射線治療、検査を受ける対象者への看護 ・健康の維持、増進(栄養・排泄・活動・休息)			講義					
14回 15回	・危篤・終末期における技術 単位認定試験			講義 試験					
16. 17回	・与薬とは			講義・演習					
18. 19回	・薬物療法と看護			講義・演習					
20. 21回	・与薬のための基礎知識			講義・演習					
22. 23回	・与薬のための援助技術			講義・演習					
24. 25回	・注射のための援助技術			講義・演習					
26. 27回	・輸血のための援助技術			講義・演習					
28. 29回	・与薬における安全管理			講義・演習					
30回	単位認定試験			試験					
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ基礎看護技術 I, II メディカ出版 学研 看護技術プラクティス第4版								
評価方法	単位認定試験 出席状況・演習など総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	ヘルスアセスメント (バイタルサイン)	松本廣美	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	バイタルサインを観察することの意義・必要性が理解できる。 バイタルサイン・フィジカルアセスメントの技術を習得する。 対象者の身体状況を適切にアセスメントするための知識・技術・態度を養う。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	ヘルスアセスメントとは				講義						
2回	フィジカルアセスメントの基本技術 問診・視診・触診・聴診・打診 聴診器の使い方				講義						
3回	バイタルサインとは 体温・脈拍・呼吸・意識				講義						
4回	血圧				講義						
5回	血圧演習				演習						
6・7回	バイタルサイン演習				演習						
8～11回	フィジカルアセスメント				講義						
12・13回	フィジカルアセスメント演習				演習						
14回	まとめ				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 基礎看護技術 I メディックメディア 看護がみえるフィジカルアセスメント 学研 看護技術プラクティス第4版										
評価方法	単位認定試験 実技試験 授業・演習態度 提出物の提出状況										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	基礎看護学方法論IV (看護過程)	久保 美紀	看護師	2年次	単位数	1 単位					
					時間数	30時間					
教育目標	看護問題解決過程の基本を理解し、科学的根拠に基づいて実践する思考力と判断力を養う。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	1. 看護過程とは				講義						
2. 3回	2. 看護過程の展開 1) アセスメント ・情報収集 ・情報の解釈・分析 ・問題の明確化 ・問題の優先順位				講義						
4. 5回	2) 計画立案 ・目標の設定 ・看護計画の具体策 O P, T P, E P				講義						
6. 7回	3) 実施・実践				講義						
8. 9回	4) 評価				講義						
10~13回	3. 事例演習				演習						
14. 15回	4. 評価				講義						
使用テキスト	基準看護計画 照林社 疾患別看護過程の展開 学研 看護過程に沿った対症看護 学研 別途資料あり										
評価方法	単位認定試験 演習課題										

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	臨床推論 I	水越スミコ	看護師	1年次	単位数	- 1単位					
					時間数	20時間					
教育目標	症状や状況に応じて、安全安楽に基づき看護技術を実施することができる。										
講義回数	講義内容			備考							
	症状の状況設定をおこない、以下の内容の看護技術を展開する										
1回	就床患者のシーツ交換・ベッドメイキング演習			講義・演習							
2回	足浴・清拭演習			講義・演習							
3回	バイタルサインの測定及び報告演習			講義・演習							
4回	コミュニケーション演習			講義・演習							
5回	環境整備演習			講義・演習							
6回	移動移送演習			講義・演習							
7~10回	実技試験			試験							
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 基礎看護技術 I . II メディカ出版 学研 看護技術プラクティス第4版										
評価方法	実技試験、出席状況、参加態度、レポート等総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	在宅看護概論	内田早紀	看護師 看護師	1年次	単位数 時間数			
教育目標	1. 在宅で生活しながら療養する人々とその家族を理解し在宅における看護の基礎を学習する。 2. 他職種と協働するための看護の役割と責任について学習する。							
講義回数	講義内容			備考				
1回	1. 在宅看護の歴史と現状 ・欧米における訪問看護活動 ・日本における在宅看護の歴史 ・在宅看護が必要とされる社会背景			講義				
2回				講義				
3回				講義				
4回	2. 在宅療養者の権利保障 ・人権の尊重と権利性・成年後見 ・在宅看護と倫理性　・虐待 ・社会的機能としての看護の責務			講義				
5回				講義				
6回				講義				
7回	3. 在宅における看護活動 ・地域ケアシステムの活用・連携の実際 ・訪問看護ステーションの設置と管理運営			講義				
8回				講義				
9回				講義				
10回	4. 在宅看護の特徴 ・医療施設看護との比較 ・在宅看護設立の条件 ・在宅看護の基本理念			講義				
11回				講義				
12回				講義				
13回	5. 在宅療養者と家族 ・家族とは　家族機能 ・家屋の変遷 ・家族をとらえる視点			講義				
14回				講義				
15回	まとめ	終講試験			試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論 地域療養を支えるケア メディカ出版							
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	在宅看護方法論Ⅰ (在宅における看護技術)	榎原実知子	看護師	2年次	単位数 1 単位				
					時間数 30 時間				
教育目標	在宅で療養する人々の日常生活援助と診療介助技術を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	1. コミュニケーション技術 ・療養者、家族や関係職種と信頼関係を作る力 ・面接技術　・看護介入技術			講義					
2回									
3. 4回	2. 観察技術 ・情報収集力、社会資源の最新情報を把握する力 ・生活の視点を含む観察、判断、幅広い知識			講義					
5. 6回	3. 日常生活援助技術 ・食の援助 清潔の援助 移動の援助 援助の基本とは何か ・排泄の援助 服薬の管理 呼吸の援助 リハビリテーションの援助			講義					
7~9回	4. 処置に伴う援助・補助技術 ①症状・状態別の看護 ②特殊な技術を伴う看護 在宅酸素療法 CAPD療法 ストーマケア 褥創 経管栄養 在宅中心静脈栄養の膀胱留置カテーテルの援助 吸引吸入 気管切開口のケア 自己導尿 在宅人工呼吸療法の援助			講義 講義 講義					
10~12回	5. 療養環境の工夫 ・居室環境の整備 ・他の福祉サービスと社会資源の利用 ・介護力の活用（意欲・時間・判断・技術など）			講義 講義 講義					
13回	6. 在宅における終末期の看護 ・在宅ターミナルケアの視点 ・在宅ターミナルケアの流れ ・症状コントロールの実際 ・看取りとグリーフケア			講義 講義					
14回									
15回	まとめ 終講試験			試験					
使用テキスト	①ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 地域療養を支える技術 メディカ出版 ③写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数					
科目名	在宅看護方法論Ⅱ (在宅看護のマネージメント)	森安香緒里 豊岡泰衣 安井智子	看護師 看護師 看護師	2年次	単位数	2 単位				
教育目標	在宅看護は他の健康医療福祉チームと協働して働きかけるので看護の役割と責任を十分理解し、他のチームとマネージメントできる知識を学習する。 社会資源の活用方法について学習する。									
講義回数	講義内容				備考					
1.2回	I 関係職種と社会資源 1. 在宅看護における法規（関係法規）と関係職種 ・保健師助産師看護師法・医療法 ・関係法規、関係機関と職種、業務					講義				
3.4回	2. 在宅看護における経済的側面と倫理的課題への対応 ・在宅看護にかかる診療報酬の概要 ・在宅看護にかかる診療報酬とそれらが算定される看護場面					講義				
5.6回	3. 訪問看護師の医療行為 ・看護師の業務 ・訪問看護師の医療行為と看護判断基準の必要性					講義				
7.8回	4. 関係職種と連携するための技術 ・社会資源およびシステムの概要を理解する ・在宅看護の立場から論理的にケースを検討できること ・ケアマネジメント・ケアコーディネーション					講義				
9.10回	5. ケアマネージャーについて ・介護保険法の中の在宅看護の位置づけ ・介護支援専門員について ・居宅サービス計画の事例 ・介護保険法をふまえて看護職がなすべきこと					講義				
11.12回	II 在宅看護における倫理的課題 ・在宅看護場面における倫理的課題 ・倫理的課題への訪問看護師の対応 ・訪問看護における倫理的課題への対応モデル ・訪問看護における医療過誤の保障					講義				
13.14回	III 看護過程【事例展開】					講義 GW				
15回	単位認定試験									
使用テキスト	①ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 地域療養を支える技術 メディカ出版 ③写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ									
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する									

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	保健医療福祉連携論	三村陽子 長谷川祐子 川口直樹 森本宏 佐藤拓也	社会福祉士 管理栄養士 理学療法士 薬剤師 臨床工学技士	1年次	単位数 1 単位 時間数 15 時間
教育目標	対象を取り巻く、保健医療福祉チームの専門職の理解と、それぞれの役割、チーム連携・協働等について学ぶ				
講義回数	講義内容				備考
1回	保健医療福祉の専門職の専門性と役割				講義
2回	介護福祉士				講義
3回	薬剤師				講義
4回	臨床工学技士				講義
5回	社会福祉士				講義
6回	理学療法士・作業療法士				講義
7回	栄養士				講義
8回	単位認定試験				試験
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	緩和ケア	武田 明 佐藤玲奈	医師 看護師	2年次	単位数 1 単位 時間数 20 時間
教育目標	終末期にある人の緩和ケアやがん患者の看護実践をする為に必要な基礎的知識と技術を学ぶ				
講義回数	講義内容			備考	
1回	緩和ケアの歴史と現状				講義
2回	チームアプローチ・緩和ケアの考え方				講義
3回	緩和ケアにおける看護介入				講義
4回	身体的ケア				講義
5回	精神的ケア				講義
6回	社会的ケア				講義
7回	スピリチュアルケア				講義
8回	緩和ケアにおける倫理的課題				講義
9回	家族ケア				講義
10回	単位認定試験				試験
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 緩和ケア メディカ出版				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する				

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	成人看護学概論	原節子	看護師	1年次	単位数	1 単位		
					時間数	30 時間		
教育目標	成人各期にある対象を成長発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。成人期にある対象の健康に影響する因子を理解し、疾病の予防と健康を維持増進する為の看護を学習する。また、成人期である自己を理解する。							
講義回数	講義内容				備考			
1回	成人期にある人の理解 成長発達の特徴				講義			
2回	身体機能の特徴と看護				講義			
3回	病人の生活を理解する視点と方法				講義			
4回	健康観の多様性と看護				講義			
5回	学習の特徴と看護				講義			
6回	生活習慣に関する健康障害 自己効力				講義			
7回	職業に関連する健康障害 生活ストレスに関する健康障害				講義			
8. 9回	ストレス 危機 適応				講義			
10回	セクシュアリティに関する健康障害				講義			
11回	セクシュアリティに関する健康障害				講義			
12回	余暇活動に伴う健康障害 更年期に見られる健康障害 ヘルスプロモーション				講義			
13回	病みの軌跡				講義			
14回	セルフケア				講義			
15回	まとめ単位認定試験				試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 成人看護学 成人看護学概論 メディカ出版							
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	成人看護学方法論Ⅰ (脳神経・運動器)	佐々江真奈美 澤田文子	看護師 看護師 看護師	2年次	単位数 1単位				
					時間数 30時間				
教育目標	成人期にある、脳神経・運動器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1. 2回	脳神経疾患患者の看護 1) 症状・障害を持つ患者の看護 ①意識障害②運動失調・不随意運動のある③言語障害 ④排尿障害⑤運動麻痺⑥筋力低下⑦痙攣⑧頭蓋内圧亢進症状 ⑨嚥下障害⑩呼吸障害⑪感覺障害⑫認知症⑬褥創の予防			講義					
3. 4回	2) 治療処置を受ける患者の看護 ①開頭術を受ける患者の看護 ②内科的治療を受ける患者の看護 ③化学療法・放射線療法を受ける患者の看護			講義					
5. 6回	3) 疾患を持つ患者の看護 ①脳梗塞②パーキンソン③筋萎縮性側索硬化症 ④進行性筋ジストロフィー症⑤髄膜炎⑥脳腫瘍 ⑦クモ膜下出血⑧下垂体⑨頭部外傷			講義					
7回	運動器疾患、患者の看護			講義					
8. 9回	1. 援助の為の主な知識と技術 2. 症状の対する看護 ①神經麻痺②循環障害とフォルクマン③疼痛 ④出血⑤感染⑥深部静脈血栓⑦褥創			講義					
10回	3. 検査を受ける患者の看護①脊髄造影②関節造影検査			講義					
11回	4. 保存療法を受ける患者の看護 ①ギプス固定をする患者の看護②副子固定③牽引療法			講義・演習					
12回	5. 手術を受ける患者の看護 ①運動器の手術を受ける患者の看護②手の腱の手術 ③脊椎固定術④質関節固定術			講義					
13回	6. 経過に応じた患者の看護（急性、慢性、回復、終末期）			講義					
14回	7. 疾患を持つ患者の看護 ①大腿骨頸部骨折②腰椎③脊髓損傷 ④骨髄腫瘍⑤腰痛を訴える患者			講義					
15回	単位認定試験			試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 脳・神経 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 運動器 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	成人看護学方法論Ⅱ (呼吸器・循環器)	長砂千代 平林優美	看護師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	成人期にある、呼吸器・循環器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	1. 呼吸器疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 ①咳嗽・喀痰なる患者の看護②血痰・喀血③胸痛④呼吸困難				講義						
2回	2) 検査を受ける患者の看護 ①内視鏡②肺組織の生検				講義						
3~5回	3) 治療・処置を受ける患者の看護 ①吸入療法を受ける患者の看護②酸素療法 ③人工呼吸器を装着する患者 ④呼吸困難気管切開を受ける患者の看護 ⑤胸腔ドレナージを受ける患者の看護 ⑥手術を受ける患者の看護①開胸術				講義						
6. 7回	4) 疾患を持つ患者の看護 ①肺炎患者の看護②結核③気管支喘息④慢性閉塞性肺疾患 ⑤肺血栓塞栓症⑥急性呼吸促迫症候群⑦睡眠時無呼吸症候群 ⑧肺がん⑨自然気胸				講義						
8回	2. 循環器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の特徴と疾病の経過 3) 症状別看護（胸痛・浮腫・チアノーゼなど）				講義						
9回	2. 検査を受ける患者の看護 1) 心臓カテーテル検査・心電図検査・運動負荷試験 2) 血行動態モニタリング（スワンガントカテーテル・動脈ライン・CVPライン）血液ガス分析				講義						
10回	3. 治療・処置を受ける患者の看護 1) 薬物療法 2) 開心術（術前・術後・回復期） 術式による観察ポイントや補助循環装置について				講義						
11回	4. 疾患をもつ患者の看護 1) 急性冠症候群（ACS）患者の看護 2) 心不全・血圧異常・不整脈患者の看護				講義						
12回	5. 心臓リハビリテーションと看護 1) 循環器疾患患者看護のまとめ（科目テスト対策） 2) 看護場面のグループワーク				講義						
13回	6. 血液・造血器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴と看護の役割 2) 血液の生理と造血のしくみ・検査と病態生理				講義						
14回	7. 血液・造血器疾患患者の看護 1) 看護場面のグループワーク 2) 血液・造血器疾患患者看護のまとめ（科目テスト対策）				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 呼吸器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 循環器 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	成人看護学方法論Ⅲ (消化器・内分泌)	川口法子 長尾雅子	看護師 看護師	2年次	単位数	1 単位			
					時間数	30 時間			
教育目標	成人期にある、消化器・内分泌疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。								
講義回数	講義内容					備考			
1~3回	I. 消化器疾患における手術療法を受ける患者の看護 1. 消化器患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の役割・疾患の経過と看護 2. 消化器の構造と機能 3. 患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療・処置を受ける患者の看護 4) 疾患の看護 ①胃十二指腸・腸・腹膜疾患患者の看護 ②肝臓・胆嚢・脾臓疾患患者の看護					講義			
4回 5~7回	I. 内分泌疾患患者の看護 1. 内分泌疾患患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護 2) 甲状腺疾患患者の看護 3) 副甲状腺疾患患者の看護 4) 副腎疾患患者 2. 代謝疾患患者の看護 1) 糖尿病患者の看護 2) 脂質異常症患者の看護 3) 肥満症患者の看護 4) 尿酸代謝患者の看護					講義 講義			
8~11回						講義			
12~14回						講義			
15回	単位認定試験					試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 消化器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	成人看護学方法論IV (腎泌尿器・生殖器)	守屋由美子 大西信子 大久保茂美	看護師 助産師 看護師	2年次	単位数 1 単位				
					時間数 30 時間				
教育目標	成人期にある、腎泌尿器・生殖器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	I. 腎・泌尿器疾患患者の看護 1. 症状に対する看護 浮腫・高血圧・排尿障害・尿失禁・尿の正常異常・疼痛 2. 検査を受ける患者の看護 3. 内科治療を受ける患者の看護 (1)治療処置を受ける患者の看護 (2)疾患を持つ患者の看護 (3)透析治療を受ける患者の看護 II. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護 1) 処置を受ける患者の看護 2)手術を受ける患者の看護 3) 薬物療法を受ける患者の看護 4) 放射線療法を受ける患者の看護 腎移植を受ける患者の看護			講義					
2回				講義					
3回				講義					
4回				講義					
5回				講義					
6回				講義					
7回				講義					
8. 9回	II. 女性生殖器系の病態・診断・治療 1. 女性生殖器の構造と機能 ・女性生殖器の解剖 ・女性生殖機能の生理 2. 症状とその病態生理 ・出血 ・帯下 ・外陰部瘙痒感 ・不定愁訴 3. 検査と治療・処置 「検査」 ・理学的検査 ・病理検査 「治療・処置」 ・コルポスコピード ・薬物療法 ・手術療法			講義					
10回				講義					
11. 12回	4. 疾患の理解 ・子宮の疾患 ・卵巣の疾患 ・月経異常 ・不妊症 ・乳がん			講義					
13. 14回				講義					
15回	単位認定試験			試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 女性生殖器 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	成人看護学方法論V (アレルギー・膠原病・血液)	田村幸二 松本梢	看護師 看護師	2年次	単位数 1単位				
					時間数 30時間				
教育目標	成人期にある、アレルギー・膠原病・血液疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1. 2回	アレルギー疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療を受ける患者の看護 4) 疾患を持つ患者の看護			講義					
3. 4回	II. 膠原病疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療を受ける患者の看護 4) 疾患を持つ患者の看護			講義					
5~7回	III. 感染症疾患患者の看護 1) 感染予防 2) 症状に対する看護 3) 検査・治療における看護 4) 疾患を持つ患者の看護 5) 感染防御			講義					
8回	• 血液の組成と機能 • 血液・造血器の異常でみられる症候と看護 貧血、発熱、リンパ節腫張、易感染性、出血傾向			講義					
9回	• 血液・造血器の異常でみられる検査と看護 未梢血検査、骨髄検査、リンパ節生検他			講義					
10. 11回	• 血液・造血器疾患の処置と看護 化学療法、放射線治療、輸血他			講義					
12. 13回	• 血液・造血器の疾患と看護 貧血、出血傾向、血球異常、リンパ腫他			講義					
14回				講義					
15回	単位認定試験			試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	周手術期看護	津島義正 岸本佳子	医師 看護師	2年次	単位数	1単位
教育目標	周手術期の治療に於ける知識技術を学ぶ。					
講義回数	講義内容					備考
1回	I . 周術期の基礎知識と生体の変化 1. 周術期に関連する基礎知識 1) 周術期看護を学ぶにあたって 2) 周術期の体験					
2回	2. 外科的侵襲からの回復期の生体反応 1) 収受付きの看護は難しいか 2) 侵襲とは					
3回	3. 外科的侵襲の種類 1) 手術の種類と分類 2) 身体機能の障害や問題に応じた治療					
4. 5回	II. 手術過程に応じた看護支援 4. 術前の看護 1) 主体的な治療参加への支援 2) リスクアセスメント 3) 直前の援助					
6. 7回	5. 術中の看護 1) 安全な環境の管理 2) 入室から麻酔までの支援 3) 手術体位の介助 4) 術中の管理 5) 麻酔覚醒時の支援 6) 病棟への引継ぎ					
8~10回	6. 術後合併症予防と発症時の支援 1) 術後のフィジカルアセスメント 2) 呼吸器合併症 3) 循環器合併症 4) 術後腸閉塞、術後イレウス 5) 術後感染 6) 縫合不全 7) 肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症 8) 術後せん妄 9) 内視鏡手術による合併症					
11~13回	III. 術後の継続看護 1. 術後障害とは 2. 術後障害が及ぼす全人的な影響 3. 継続看護の必要性と影響因子 4. セルフケア技術の習得を促す援助 5. 継続看護を支える看護師間・他職種間の連携					
14回 15回	IV. 日帰り手術時の看護 単位認定試験					
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周術期看護 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	老年看護学概論	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1 単位		
						時間数 30 時間		
教育目標	健康な高齢者の特徴や加齢による身体的・精神的・社会的側面の変化が、生活にどのように影響しているかを理解し、老年看護に必要な知識を学習する。							
講義回数	講義内容				備考			
1.2回	1. 老いるということ、老いを生きるということ 老年看護の入り口 「老いる」ということ 老いを生きるということ				講義			
3回	2. 高齢者疑似体験、GW				講義・演習			
4回	3. 高齢者疑似体験GW発表、まとめ、老年看護のなりたち							
5回	4. 高齢者のヘルスマネジメント ヘルスマネジメントの基本				講義			
6回	5. 身体の加齢変化とアセスメント 皮膚とその付属器、視聴覚とその他の感覚、運動器系、ホルモンの分泌				講義			
7回	6. 循環器系				講義			
8回	7. 呼吸器系				講義			
9回	8. 消化器系				講義			
10回	9. 超高齢社会と社会保障 10. 超高齢社会の統計的輪郭				講義			
11回	11. 高齢社会における保健医療福祉の動向				講義			
12回	12. 高齢者の権利擁護				講義			
13回	13. エンドオブライフケア エンドオブライフケアの概念、「生ききる」ことを支えるケア				講義			
14回	14. 意思決定への支援、末期段階に求められる援助				講義			
15回	15. まとめ、単位認定試験				試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版							
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	老年看護学方法論 I (基本技術と演習)	宮原 真由美	看護師	2年次	単位数 1 単位				
					時間数 30時間				
教育目標	老年看護の特徴を理解し、その人らしい生活を支えるための基礎的な、日常生活援助の方法を習得する。								
講義回数	講義内容			備考					
1回	1. 老年看護学概論の復習 老年のイメージ・疑似体験より老年期とは・高齢者の特徴 高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動			講義					
2回	2. 高齢者の生活機能を整える看護 転倒のアセスメントと看護、廃用症候群のアセスメントと看護			講義					
3回	3. 食事・食生活 高齢者における食生活の意義、高齢者に特徴的な変調			講義					
4回	4. 食生活のアセスメント、食生活の支援			講義					
5回	5. 食事介助の演習と振り返り			講義					
6回	6. 排泄 高齢者の排泄ケアの基本、排尿障害のアセスメントとケア 排便障害のアセスメントとケア			講義					
7回	7. 清潔 清潔の意義、高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題			講義					
8回	8. 生活リズム 清潔のアセスメント、清潔の援助			講義					
9回	8. 生活リズム 高齢者と生活リズム、高齢者に特徴的な変調			講義					
10回	9. コミュニケーション 高齢者とのコミュニケーションと関わり方の原則 コミュニケーション能力のアセスメント 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法			講義					
11回	10. セクシュアリティー、社会参加 高齢者におけるセクシャリティー 高齢者ケアの場における性に関する問題 セクシュアリティーのアセスメント 社会参加 高齢化の現状と目ざす社会の方向性 地域における高齢者の社会参加			講義					
12回	11. 生活療養の場における看護 高齢者とヘルスプロモーション 保健医療福祉施設および住居施設における看護			講義					
13回	12. 生活療養の場における看護 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 家族への援助、多職種連携実践による活動			講義					
14回	13. 高齢者のリスクマネージメント 高齢者と医療安全、高齢者と救命救急、高齢者と災害			講義					
15回	14. まとめと終講試験			試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	老年看護学方法論Ⅱ (高齢者の健康障害時の看護)	近藤未美	看護師	2年次	単位数	2単位			
					時間数	30時間			
教育目標	高齢者に多い疾患と主要症状を理解し、老年者の健康障害の程度に応じた援助方法を習得する。								
講義回数	講義内容					備考			
1. 2回	認知症と看護 認知症の概念 認知症の症状					講義			
3回	精神・神経疾患の看護					講義			
4回	循環器系の疾患の看護					講義			
5回	呼吸器系の疾患の看護					講義			
6回	消化器系の疾患の看護					講義			
7回	内分泌・代謝系の疾患の看護					講義			
8回	膠原病					講義			
9回	血液疾患の看護					講義			
10回	腎・泌尿器の疾患の看護					講義			
11. 12回	運動器の疾患の看護					講義			
13. 14回	皮膚の疾患 感覚器の疾患の看護 歯の疾患の看護 感染症					講義			
15回	まとめ・終講試験					試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	小児看護学概論	中本洋美 丸山育代	看護師	1年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	子どもと家族の看護の概念と意義を理解し、子どもの特徴および成長発達過程と、日常生活援助および健康増進の援助を理解し、小児看護の目的と役割を学習する。								
講義回数	講義内容					備考			
1回	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目ざすところ 2) 小児と家族の諸統計					講義			
2回	2. 小児の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の進み方								
3. 4回	3. 新生児・乳児 1) 新生児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴 2) 乳児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴								
5回	4. 幼児・学童 1) 幼児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴								
6回	2) 学童 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴								
7回	5. 思春期・青年期の小児 (1) 形態的特徴 (2) 生理的特徴								
8~10回	6. 家族の特徴とアセスメント								
11. 12回	7. 小児と家族を取り巻く社会 (1) 小児をめぐる法律と政策 (2) 学校保健								
13. 14回	8. 小児のアセスメント (1) アセスメントに必要な技術 (2) 身体的アセスメント								
15回	9. まとめ 終講試験								
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	小児看護学方法論Ⅰ	瀧 正史 虫明亨祐	医師 医師	2年次	単位数	1単位			
					時間数	30時間			
教育目標	健康問題・障害を持つ小児特有の症状と病態およびその治療について学習する。								
講義回数	講義内容				備考				
1回	先天異常				講義				
2回	代謝性疾患・内分泌				講義				
3回	免疫・アレルギー疾患				講義				
4回	感染症				講義				
5回	呼吸器疾患				講義				
6回	循環器疾患				講義				
7回	消化器疾患				講義				
8回	血液・造血器疾患と悪性新生物				講義				
9回	腎・泌尿器疾患				講義				
10回	神経疾患				講義				
11回	運動器疾患・皮膚疾患				講義				
12回	眼疾患・耳鼻咽喉疾患				講義				
13回	精神疾患				講義				
14回	子供の事故・虐待				講義				
15回	単位認定試験				試験				
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 小児の疾患と看護 メディカ出版								
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数							
科目名	小児看護学方法論 II	千田京子 片山裕美	看護師 看護師	2年次	単位数	2単位						
					時間数	30時間						
教育目標	あらゆる健康レベルの子どもと家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。											
講義回数	講義内容				備考							
1回	1. 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 1) 疾病・障害が小児と家族に与える影響 2) 小児の健康問題と看護					講義						
2~4回	2. 小児における疾病的経過と看護 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周手術期の小児と家族の看護 4) 終末期の小児と家族の乱後					講義						
5~7回	3. 症状を示す小児の看護 1) 一般状態 2) 痛み 3) 呼吸・循環系の症状 4) 発熱 5) 消化器症状 6) 水分・電解質異常 7) 血液 8) 神経・筋症状					講義						
8回	5. 検査・処置を受ける小児の看護					講義						
9~13回	6. 内分泌疾患と看護 7. 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護 8. 感染症と看護 9. 呼吸器疾患と看護 10. 循環器疾患と看護 11. 消化器疾患と看護 12. 血液造血器疾患と看護 13. 腎泌尿器疾患と看護 14. 運動器疾患と看護					講義						
14回	15. 事故・外傷と看護 16. 子供の虐待と看護					講義						
15回	単位認定試験					試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 小児看護技術 メディカ出版											
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する											

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	母性看護学概論	川西久枝	看護師	1年次	単位数 1単位			
					時間数 30時間			
教育目標	母性看護の基盤となる概念を学び、母性看護の対象（私）を理解する。また、母性の健康維持・増進（well-being）・疾病予防に必要な社会制度と資源の活用や援助方法の基礎について学び、考え、理解する。							
講義回数	講義内容			備考				
1回	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母性看護の中心概念 2) 母子看護実践を支える概念			講義				
2回	2. リプロダクティブヘルスケア ・リプロダクティブヘルス/ライツ ・セクシュアリティとジェンダー			講義				
3回	3. リプロダクティブヘルスに関する動向			講義				
4回	4. 出生・死亡に関する統計			講義				
5回	5. リプロダクティブヘルスに関する倫理			講義				
6回	・母性看護実践における倫理的・法的・社会的課題 ・人工妊娠中絶に関する現況、倫理的・法的・社会的課題 ・出生前診断に関する現況、倫理的・法的・社会的課題 ・生殖補助医療に関する現況、倫理的・法的・社会的課題			講義				
7回	6. リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援			講義				
8回	7. 子どもと女性の保護に関する法律			講義				
9回	8. 女性の就労、子育て支援に関する法律			講義				
10回	9. 暴力・虐待の防止に関する法律と支援			講義				
11回	10. 生殖に関する生理			講義				
12回	・男性、女性の生殖器 ・第二次性徴			講義				
13回	11. 生殖における健康問題と看護			講義				
14回	・月経異常 ・性感染症			講義				
15回	12. 不妊症			試験				
使用テキスト		ナーシンググラフィカ 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版						
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	母性看護学方法論 I	高橋澄子	助産師	2年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	妊婦・産婦・褥婦・新生児の生理的変化について理解し、あらゆる健康レベルの母子とその家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。										
講義回数	講義内容				備考						
1~2回	子どもを産み育てることと、その看護を学ぶにあたって 出生前からのリプロダクティブヘルスケア リプロダクティブヘルスケアの必要性 遺伝相談、妊娠治療と看護				講義						
3~5回	妊娠期における看護 妊娠期の身体的特性、妊娠期の心理・社会的特性 妊婦と胎児のアセスメント、妊婦と家族の看護				講義						
6~8回	分娩期における看護 分娩の要素、経過、産婦・胎児、家族のアセスメント 産婦と家族の看護、分娩期の看護の実際				講義						
9~11回	新生児期における看護 新生児の生理、新生児のアセスメント、新生児の看護				講義						
12~14回	産褥期の看護 産褥経過、褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護 施設退院後の看護				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護技術 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数						
科目名	母性看護学方法論Ⅱ	秋山真穂	助産師	2年次	単位数	2単位					
					時間数	30時間					
教育目標	1. 妊娠・分娩・産褥の生理的な経過とその診断、検査について学習する。 2. 妊婦・産婦・褥婦の生理的な身体的変化とハイリスク状態について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	遺伝相談				講義						
2回	不妊治療				講義						
3回	妊娠期の身体的特性				講義						
4回	分娩の要素				講義						
5回	分娩の経過				講義						
6. 7回	産褥経過				講義						
8. 9回	妊娠の異常				講義						
10回	分娩期の異常				講義						
11回	産褥期の異常				講義						
12回	精神障害合併妊婦				講義						
13回	新生児の生理				講義						
14回	新生児の異常				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護技術 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	1年次		
科目名	精神看護学概論	小川修一	看護師	1年次	単位数	1単位	
教育目標	心の発達と心の健康に関する要因および心の健康の維持・増進のために必要な知識を学習する。					時間数	30時間
講義回数	講義内容					備考	
1回	精神看護学の目的とカリキュラムの変遷 精神看護学の考え方					講義	
2回	心の健康とその考え方					講義	
3回	精神障害者の理解					講義	
4回	精神医療の歴史					講義	
5回	心の構造 フロイト（心的構造、局所論、発達論）					講義	
6. 7回	ライフサイクルと精神保健（乳幼児の発達課題と危機）					講義	
8回	ライフサイクルと精神保健（幼児期の発達課題と危機）					講義	
9回	ライフサイクルと精神保健（学童期の発達課題と危機）					講義	
10回	ライフサイクルと精神保健（思春期の発達課題と危機）					講義	
11回	ライフサイクルと精神保健（成人期・老年期の発達課題と危機）					講義	
12. 13回	生活の場と精神保健（家庭・学校・職場）					講義	
14回	リエゾン精神医学とリエゾン精神看護					講義	
15回	単位認定試験					試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカ ナーシンググラフィカ	精神看護学① 精神看護学②	情緒発達と精神看護の基本 精神障害と看護の実践	メディカ出版 メディカ出版			
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する						

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	1年次						
科目名	精神看護学方法論Ⅰ (障害をもつ人の理解)	都筑豊	看護師	1年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	精神障害の原因・症状について理解し、検査・治療の方法について学習する。										
講義回数	講義内容				備考						
1.2回	精神障害の主な検査と治療法。 診断の基礎と要点(観察, 問診, 既往歴, 生活歴, 家族歴)				講義						
3.4回	検査の種類。 神経学的検査(脳波検査, 髄液検査) 心理検査(知能テスト, 人格検査, 記憶力検査など)				講義						
5.6回	各種治療法 薬物療法, 電気痙攣療法, 社会復帰療法, 精神療法。				講義						
7~10回	主な精神障害の診断。 主な精神障害。 統合失調症, 躁鬱病, 心因反応, 人格障害, 器質性精神障害 児童・思春期の主な精神障害。				講義						
11.12回	精神障害者の抱える症状の理解。 精神症状。 精神症状の種類(知覚の障害, 思考の障害, 自我意識の障害など) 状態像(不安状態, 心気状態, 幻覚妄想状態, 抑うつ状態, 混迷など)				講義						
13.14回	中枢神経症状 神経症状の識別。 中枢神経症状の種類。				講義						
15回	単位認定試験				試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版										
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する										

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定期	1年次			
					単位数	2単位		
科目名	精神看護学方法論Ⅱ (障害をもつ人の看護)	水越スミコ	看護師	2年次	時間数	30時間		
教育目標	心の健康に問題をもつ人とその家族を理解し、対象に応じた看護ができるための基礎的な知識と技術を習得する。							
講義回数	講義内容				備考			
1回	精神障害の理解	精神医療の歴史	精神障害者の現状		講義			
2回	精神障害者の理解		精神疾患のとらえかた		講義			
3回	患者家族の心理とその援助				講義			
4回	不安状態・心気状態の患者の看護				講義			
5回	幻覚・妄想状態の患者の看護				講義			
6回	強迫症状・パニック症状のある患者の看護				講義			
7回	自発的減退（自閉症状）昏迷状態の患者の看護				講義			
8回	てんかん痙攣発作時・拒絶のある患者の看護				講義			
9回	アルコール・薬物依存患者の看護				講義			
10回	躁鬱病患者の看護				講義			
11回	パーソナリティ障害者の看護				講義			
12回	アルツハイマー病・脳血管性認知症患者の看護				講義			
13回	精神科リハビリテーションの展開				講義			
14回	ロールプレイとプロセスレコード				講義			
15回	単位認定試験				試験			
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版							
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	医療安全・看護管理	小川修一 原節子	看護師 看護師	3年次	単位数	1単位		
					時間数	30時間		
教育目標	看護サービスを提供していくための看護管理の概念を学び、看護の提供システム、看護サービスの質保証や人材育成、制度を学ぶ。							
講義回数	講義内容		備考					
1. 2回	看護管理学とは ①看護管理の定義・概念・要素・場		講義					
3. 4回	看護におけるマネジメント ①考え方と変遷 ②これから看護職にもとめられるマネジメント		講義					
5. 6回	看護ケアのマネジメント看護職の機能 ①看護ケアのマネジメントとプロセス・機能 ②看護ケアを提供される者としての機能		講義					
7. 8回	患者権利の尊重 ①患者権利 ②インフォームドコンセント ③意志決定の支援		講義					
9回	安全管理 ①しきみ ②医療事故対策 ③院内感染対策 ④災害の予防と対応		講義					
10回	チーム医療 ①チーム医療とは・機能 ②看護職の責任と役割 ③多職種との連携・協働		講義					
11回	看護業務の実践 ①クリティカルパス・情報活用 ②看護政策の決定過程		講義					
12回	看護職のキャリアとマネジメント 看護サービスのマネジメント		講義					
13回	マネジメントに必要な知識と技術		講義					
14回	看護を取り巻く諸制度		講義					
15回	終講試験		試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 医療安全 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 看護管理 メディカ出版							
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポートで総合的に判断する							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	臨床推論Ⅱ	大西信子	看護師	2年次	単位数 1単位				
					時間数 30時間				
教育目標	症状や状況に応じて、安全安楽に基づき看護技術を実施することができる。								
講義回数	講義内容			備考					
1～3回	グループ毎に事例展開を行い、必要な看護ケア技術を考え演習する 看護事例について情報収集			講義					
4～6回	事例についてアセスメント			講義					
7～9回	計画立案			講義					
10～12回	計画立案に基づく看護ケアの演習			講義					
13～14回	看護ケア実技評価			演習					
15回	まとめ			試験					
使用テキスト	事例提示資料								
評価方法	単位認定試験、評価表に基づく到達度評価、出席日数、参加態度								

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定期	単位数			
科目名	臨床推論III	小川修一	看護師	3年次	単位数 1単位			
					時間数 15時間			
教育目標	症状を通して、身体の変化を推論し、緊急度や対応を判断する力を養う。							
講義回数	講義内容				備考			
1回	発熱・呼吸困難				演習			
2回	低血圧・高血圧				演習			
3回	腹痛				演習			
4回	浮腫				演習			
5回	手足のしびれ				演習			
6回	救命救急法、止血法				演習			
7回	採血				演習			
8回	単位認定試験				試験			
使用テキスト	事例提示資料							
評価方法	単位認定試験、評価表に基づく到達度評価、出席日数、参加態度							

授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	単位数						
科目名	看護研究Ⅱ	小川修一	看護師	3年次	単位数	1単位					
					時間数	30時間					
教育目標	看護における研究の必要性を理解し、看護研究を通して研究の過程が理解できる。 看護研究の実際を行い、研究成果を発表することができる。 研究成果を論文にまとめることができる。										
講義回数	講義内容				備考						
1回	看護研究の概要				講義						
2回	研究上の問い合わせの立て方				講義						
3回	研究の進め方				講義						
4回	研究計画書の作成				講義						
5回	事例研究の演習（論文の書き方のきまり）				演習						
6回	事例研究の演習（研究計画書の作成）				演習						
7回	事例研究の演習（ゼミ）				演習						
8回	事例研究の演習（ゼミ）				演習						
9回	事例研究の演習（ゼミ）				演習						
10回	事例研究の演習（ゼミ）				演習						
11～15回	事例研究の演習（発表）				看護研究発表						
使用テキスト	JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方 医学書院										
評価方法	研究内容および発表										

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	人間関係論	安田 幸平 末利 彰	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位			
					時間数	60時間			
教育目標	介護実践のために必要な人間の理解や他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養う。								
講義回数	講義内容					備考			
1~2回	対人コミュニケーションの意義・概要					講義			
3~4回	自己覚知・他者理解・ラポール(演習)					講義			
5~6回	6W1H(質問の方法・演習)					講義			
7回	対人距離(物理的・心理的距離)					講義			
8回	言語的コミュニケーション					講義			
9回	非言語的コミュニケーション					講義			
10回	傾聴、受容、共感					講義			
11回	機器や記述によるコミュニケーション					講義			
12回	人間と人間関係					講義			
13回	介護実践におけるチームマネジメント					講義			
14回	総合的コミュニケーション演習					講義			
15回	まとめ・科目試験					試験			
16~19回	介護サービスの特性と求められるマネジメント					講義			
20~22回	組織と運営管理					講義			
23~26回	チーム運営の基本					講義			
27~29回	人材の育成と管理					講義			
30回	まとめ・科目試験								
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	余暇活動援助法	東 潤一	介護 福祉士	1年次	単位数	2単位	
教育目標	1. 介護の基本となるべく、社会参加・活動へ働きかける、生活の活性化、心身の活性化のための援助について理解する。 2. アクティビティサービスの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術について理解する。					時間数	30時間
講義回数	講義内容					備考	
1~2回	実際の援助の場面(老人施設・障害者施設・在宅)					講義	
3~4回	援助の素材 (アクティビティプログラムの展開の基本、個別援助)					講義	
5回	アクティビティプログラム集団援助					講義	
6~7回	実際の計画の場面、計画の素材					講義	
8~9回	援助企画・準備					講義	
10回	援助実施					講義	
11回	援助の必要性					講義	
12回	アクティビティサービスの提供					講義	
13回	援助課題の評価					講義	
14回	評価基準と展開					講義	
15回	まとめ・科目試験					試験	
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）						

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	アクティビティ論	東 潤一	介護 福祉士	1年次	単位数	2単位	
教育目標	1. 介護の基本となるべく、社会参加、活動へ働きかける、生活の活性化、心身の活性化のための援助について理解する。 2. アクティビティサービスの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術について理解する。					時間数	30時間
講義回数	講義内容					備考	
1回	今日の社会と社会福祉の動向				講義		
2回	人間の尊厳と自立				講義		
3回	ライフスタイル、生活様式の多様な変容				講義		
4~5回	コミュニケーション				講義		
6~7回	レクリエーションからアクティビティへ ~語源と歴史的背景~				講義		
8~9回	アクティビティ・サービスの理念とその役割				講義		
10~11回	専門職とその役割				講義		
12回	専門職としての人権尊重				講義		
13回	援助の体系と連携				講義		
14回	生活史と文化				講義		
15回	まとめ・科目試験				試験		
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）						

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	介護福祉概論	東 潤一	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位			
					時間数	60時間			
教育目標	「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解し、「介護を必要とする人」を生活の観点から捉える能力を養う。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	介護の歴史				講義				
3~4回	介護問題の背景 少子高齢化、家族機能の変化、介護の社会化、高齢者虐待、介護ニーズの変化など				講義				
5~6回	社会福祉士及び介護福祉士法				講義				
7~8回	専門職能団体の活動				講義				
9~10回	QOL・ノーマライゼーションの考え方				講義				
11~12回	利用者主体の考え方				講義				
13~14回	自立支援の考え方・具体的展開				講義				
15回	まとめ・確認				講義				
16~17回	個別ケアの考え方・具体的展開				講義				
18~19回	ICFの考え方・ICFに基づく利用者のアセスメント				講義				
20~21回	リハビリテーションの考え方と実際				講義				
22~23回	人間の多様性・複雑性の理解				講義				
24~25回	高齢者の暮らしの実際				講義				
26~27回	障害のある人の暮らしの理解				講義				
28~29回	介護を必要とする人の生活環境の理解				講義				
30回	まとめ・科目試験				試験				
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	介護援助論	高橋 洋二	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位			
					時間数	60時間			
教育目標	介護における介護サービスおよびチームケアについて理解する。								
講義回数	講義内容				備考				
1～2回	介護福祉士を取り巻く状況				講義				
3～4回	社会福祉士及び介護福祉士法				講義				
5～6回	介護における職能団体の活動				講義				
7～8回	介護従事者の倫理				講義				
9～10回	介護実践の場で求められる倫理				講義				
11～12回	介護サービス提供の場の特性:居宅、施設、その他				講義				
13～14回	事例検討				講義				
15回	まとめ・確認				講義				
16～17回	多職種連携(チームアプローチ)の意義と目的				講義				
18～19回	他の福祉職種の機能と役割、連携				講義				
20～21回	保健医療職種の機能と役割、連携				講義				
22～23回	その他の関連職種との連携				講義				
24～25回	地域連携の意義と目的				講義				
26～27回	地域住民、ボランティア等のインフォーマルサービスの機能と役割、連携				講義				
28回	地域包括支援センターの機能と役割				講義				
29回	市町村、都道府県の機能と役割、連携				講義				
30回	まとめ・科目試験				試験				
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護福祉実践論	東 潤一	介護 福祉士	2年次	単位数	4単位
教育目標	介護における安全について理解し、利用者の安全や介護従事者の安全に配慮した介護を実践する能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	利用者の人権と介護:身体拘束禁止、高齢者虐待、児童虐待				講義	
2回	プライバシーの保護:個人情報保護、その他				講義	
3回	介護における安全の確保:観察、正確な技術、予測、分析				講義	
4~5回	事故防止、安全対策:セーフティマネジメント、緊急連絡システム、				講義	
6~7回	転倒・転落防止、骨折予防、防火・防災対策、利用者の生活の安全				講義	
8~9回	感染対策:感染予防の意義と介護、感染予防の基礎知識、				講義	
10~11回	感染予防の技術、感染管理、衛生管理、その他				講義	
12~13回	健康とは何か				講義	
14回	環境と健康				講義	
15回	まとめ・確認				講義	
16回	職業病の発生原因、主な職業病				講義	
17~18回	労働災害と事故:労働条件、作業方法、作業環境、健康管理				講義	
19~20回	労働と余暇				講義	
21~22回	労働とこころの健康:心の病気、うつ病、心身症				講義	
23~24回	介護従事者の健康管理:身体面、精神面、感染症予防、腰痛予防、				講義	
25~26回	メンタルヘルス				講義	
27回	介護従事者の安全に関する法律				講義	
28回	労働基準法				講義	
29回	労働安全法				講義	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価:授業態度および提出物評価並びに試験得点(100点満点)					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	コミュニケーションの実際	橋本歩	介護福祉士	1年次	単位数 2単位 時間数 30時間
教育目標	本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。				
講義回数	講義内容			備考	
1回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
2回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
3回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
4回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
5回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
6回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義
7回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
8回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
9回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
10回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
11回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
12回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際				講義
13回	チームのコミュニケーションの意義				講義
14回	チームのコミュニケーションの意義				講義
15回	まとめ・評価				講義

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	生活支援法	角 江津子	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位	
		西宇可奈子			時間数	60時間	
教育目標	生活支援の考え方を理解し、自立に向けた安全で心地よい生活環境の整備について理解を深める。また、移動の意義・目的について理解し、その生活支援技術を身につける。						
演習回数	演習内容			備考			
1～2回	生活の理解			演習			
3～4回	生活支援とは			演習			
5～6回	生活支援技術とは			演習			
7～11回	生活支援技術におけるコミュニケーションとは			演習			
12～14回	観察の技法 (生活状態・社会的側面の観察、知的・心理状態の 観察、健康状態の把握)			演習			
15回	まとめ・確認			演習			
16～19回	運動・移動における介護の原則 (ボディメカニクス)			演習			
20～25回	安楽の技法(安楽な姿勢、体位と用具)			演習			
26～29回	運動・移動の技法 (ベッド上の移動、歩行介助の技法、移動の技法)			演習			
30回	まとめ・科目試験			試験			
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点（100点満点）						

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	生活支援実践	角 江津子 西宇可奈子 東 潤一 高橋 洋二	介護 福祉士	1年次	単位数 4単位 時間数 60時間
教育目標	日常生活における基本介護の技法を理解し習得する。				
演習回数	演習内容			備考	
1~2回	日常生活における基本介護の技法			演習	
3回	食事の意義と目的			演習	
4~5回	食事の介護			演習	
6~7回	口腔ケア			演習	
8回	排泄の意義と目的			演習	
9~10回	排泄の介護			演習	
11回	身支度の意義と目的、身だしなみの介護			演習	
12~14回	着脱の介護			演習	
15回	まとめ・確認			演習	
16~17回	清潔保持の介護			演習	
18~20回	入浴の介護			演習	
21~22回	部分浴			演習	
23~24回	清拭			演習	
25~26回	洗髪			演習	
27回	睡眠の援助			演習	
28回	罨法			演習	
29回	褥瘡予防			演習	
30回	まとめ・科目試験			試験	
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点（100点満点）				

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数			
科目名	生活支援技術演習	高橋 洋二	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位		
		東 潤一			時間数	60時間		
教育目標	心身に障害のある人への自立に向けた介護について理解する。							
演習回数	演習内容				備考			
1～3回	視覚障害者の理解・介護				演習			
4～5回	聴覚・言語障害者の理解・介護				演習			
6～7回	盲ろう者の理解・介護				演習			
8～9回	運動機能障害者の理解・介護				演習			
10～12回	内部障害者の理解・介護 心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、肝臓機能障害				演習			
13～14回	知的障害者の理解・介護				演習			
15回	まとめ・確認				演習			
16～18回	精神障害者の理解・介護				演習			
19～21回	高次脳機能障害者の理解・介護				演習			
22～25回	発達障害者の理解・介護				演習			
26～28回	重複障害者の理解・介護				演習			
29回	認知症の人に応じた介護				演習			
30回	まとめ・科目試験				試験			
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）							

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	生活支援リハビリ	角 江津子	介護福祉士	2年次	単位数 4単位
		高橋 洋二 東 潤一 筒井 恵子 林 えり子	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 福祉施設施設長 マイアップアーティスト		時間数 60時間
教育目標	自立に向けた介護、リハビリテーションや介護予防についての理解を深め、その手法を身につける。				
演習回数	演習内容			備考	
1回	リハビリテーションの考え方及び実際 (リハビリテーションと介護・リハビリテーション方法論)			演習	
2回	廃用症候群とその防止・軽減について			演習	
3回	障害の種別とその様子			演習	
4回	介護保険における住宅改修・福祉用具について			演習	
5回	介護予防について			演習	
6回	生活リハビリについて			演習	
7回	リハビリテーションの実際 (介護保険施設でのリハビリテーション・地域におけるリハビリテーションの展開過程)			演習	
8回	転倒予防			演習	
9回	失禁予防			演習	
10回	低栄養予防			演習	
11~12回	事例演習			演習	
13~14回	事例演習（応用）			演習	
15回	まとめ・確認			演習	
16~19回	音楽療法			演習	
20~21回	園芸療法			演習	
22~23回	アニマルセラピー			演習	
24~29回	ネイルケア・メイク・ヘアブロー・シャンプー等			演習	
30回	まとめ・科目試験			試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）				

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護過程入門	角 江津子	介護 福祉士	1年次	単位数	2単位
教育目標	他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる介護過程展開の能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1~2回	介護過程の意義と目的・目標				講義	
3~4回	介護過程の展開の基本				講義	
5~7回	情報収集とアセスメント ・介護実践に必要な情報 ・情報源と情報の収集の方法 ・アセスメントの方法				講義	
8~10回	課題・目標 ・生活支援の課題、目標の捉え方				講義	
11~12回	実施				講義	
13~14回	評価 ・評価の目的、内容、方法				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生涯発達論	津田君江	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	発達の観点からの老化を理解する。					
講義回数	講義内容					備考
1~3回	老化'老い'について考える					講義
4~6回	人間の成長と発達～定義・段階・課題～					講義
7~9回	老年期の定義					講義
10~14回	老年期の発達課題 ・人格と尊厳 ・老いの価値 ・喪失体験 ・セクシュアリティ					講義
15回	まとめ・科目試験					試験
評価方法	成績評価：授業態度お及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	高齢者の健康と障害	津田君江	看護師	2年次	単位数	2単位			
					時間数	30時間			
教育目標	老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習とする。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	老化に伴う心身の変化の特徴				講義				
3~4回	老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響: 身体的機能の変化、知的・認知機能の変化、精神的機能の変化				講義				
5~9回	高齢者の心理 <ul style="list-style-type: none">・老化を受け止める高齢者の気持ち・社会や家庭での役割を失う高齢者の気持ち・障害を受け止める高齢者の気持ち・友人との別れを受け止める高齢者の気持ち・経済的不安を抱える高齢者の気持ち・その他				講義				
10~11回	高齢者の疾病と生活上の留意点 <ul style="list-style-type: none">・高齢者の症状の現れ方の特徴・高齢者の体の不調の訴え				講義				
12~13回	高齢者の多い病気とその日常生活上の留意点				講義				
14回	保健医療職との連携				講義				
15回	まとめ・科目試験				試験				
評価方法	成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	老人医学	重實 剛	介護 福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	認知症に関する基礎的知識を習得する。					
講義回数	講義内容			備考		
1回	認知症ケアの歴史:認知症の人の生きる世界			講義		
2回	認知症ケアの理念			講義		
3回	認知症高齢者の現状と今後			講義		
4回	認知症に関する行政の方針と施策			講義		
5~7回	認知症による障害（記憶障害、見当識障害、失語、失認、失行、その他）			講義		
8~9回	認知症と間違えられやすい症状（うつ病・せん妄）			講義		
10~12回	認知症の原因となる主な病気の症状の特徴			講義		
13回	若年性認知症			講義		
14回	病院で行われる検査、治療の実際			講義		
15回	まとめ・科目試験			試験		
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数
科目名	認知症援助法	重實 剛	介護 福祉士	1年次	単位数 2単位 時間数 30時間
教育目標	認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。				
講義回数	講義内容				備考
1~2回	認知症が及ぼす心理的影響				講義
3~4回	認知症の人の特徴的な行動障害				講義
5~6回	周辺症状の背景にある、認知症のある人の特徴的なこころの理解				講義
7~8回	認知症の人の特性を踏まえたアセスメント				講義
9回	環境変化が認知症の人与える影響				講義
10回	地域におけるサポート体制				講義
11回	チームアプローチ				講義
12回	家族への支援				講義
13~14回	事例検討				講義
15回	まとめ・科目試験				試験
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）				

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	障害者福祉論	村上 凡子	看護師	1年次	単位数	2単位			
					時間数	30時間			
教育目標	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得する。								
講義回数	講義内容				備考				
1~2回	障害の概念 • 障害の捉え方 • ICIDHからICFへの変遷				講義				
3~4回	障害者福祉の基本理念 ノーマライゼーション、リハビリテーション、国際障害者年の理念、その他				講義				
5~10回	身体障害の種類・原因・特性 • 視覚障害 • 聴覚障害 • 言語機能障害 • 肢体不自由 • 内部障害				講義				
11回	精神障害の種類・原因・特性				講義				
12回	知的障害の種類・原因・特性				講義				
13回	発達障害の種類・原因・特性				講義				
14回	難病の種類・原因・特性				講義				
15回	まとめ・科目試験				試験				
評価方法	成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	障害者心理学	村上 凡子	看護師 2年次	単位数	2単位		
				時間数	30時間		
教育目標	障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。						
講義回数	講義内容				備考		
1~2回	障害が及ぼす心理的影響				講義		
3~4回	障害の受容				講義		
5~6回	適応と適応規制				講義		
7~8回	障害の人の特性を踏まえたアセスメント				講義		
9~10回	地域におけるサポート体制: 行政・関係機関との連携、地域自立支援協議会との連携				講義		
11~12回	チームアプローチ 他の福祉職種、保健医療職種との連携				講義		
13~14回	家族への支援 家族の障害受容過程における援助、家族の介護力の評価、家族のレスパイト				講義		
15回	まとめ・科目試験				試験		
評価方法	成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）						

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床心理学	流王 治郎	臨床心理士	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	生活支援技術の根拠となるこころのしくみを理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	心理学の概要				講義	
2回	精神機能の概要				講義	
3回	記憶の心理				講義	
4回	知能の心理				講義	
5回	感情の心理				講義	
6回	性格の心理				講義	
7回	行動からの人間理解				講義	
8回	発達からの人間理解				講義	
9回	適応からの人間理解				講義	
10回	対人関係の心理				講義	
11回	対人行動の心理				講義	
12回	援助行動の心理				講義	
13回	福祉相談機関				講義	
14回	適応障害と心理治療				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活援助論	高畠亜弥	看護師	1年次	単位数	4単位
教育目標	介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。					
講義回数	講義内容					備考
1回	身支度に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
2~3回	機能の低下・障害が及ぼす整容行動への影響					講義
4回	移動に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
5~6回	機能の低下・障害が及ぼす移動への影響					講義
7回	食事に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
8~9回	機能の低下・障害が及ぼす食事への影響					講義
10~11回	誤嚥を予防するための日常生活での留意点					講義
12回	嚥下障害に気づく観察のポイント					講義
13回	脱水に気づく観察のポイント					講義
14回	食事に関する医療行為:経管栄養・胃ろう・腸ろう					講義
15回	まとめ・確認					講義
16回	入浴・清潔保持に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
17~18回	機能の低下・障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響					講義
19回	排泄に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
20~21回	機能の低下・障害が及ぼす排泄への影響					講義
22回	便秘・下痢に気づくための観察ポイント					講義
23回	排泄に関する医療行為:膀胱留置カテーテル・膀胱ろう					講義
24回	睡眠に関連したこころとからだの基礎知識・しくみ					講義
25回	機能の低下・障害が及ぼす睡眠への影響					講義
26回	'死'の捉えかた					講義
27回	終末期から危篤、死亡時からの理解					講義
28回	'死'に対するこころの理解					講義
29回	終末期における医療職との連携					講義
30回	まとめ・科目試験					試験
評価方法	成績評価：授業態度及び試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医学概論	渡邊 洋子	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	生活支援技術の根拠となる人体の構造を理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	人体各部の名称、細胞・組織・臓器の関連				講義	
2回	骨と関節・関節可動域				講義	
3回	骨と筋肉系・ボディメカニクス				講義	
4~7回	生命の維持恒常のしくみ: •体温、脈拍、呼吸、血圧、その他 •神経の興奮と伝達 •体液とその組成 •循環と血液 •呼吸とガス交換 •消化と吸收 •尿の生成と排泄 •ホルモンの作用 •感覚器の構造と機能 •生殖器系 •免疫の役割 •遺伝のしくみ				講義	
8回	高齢者の症状・疾患の特徴				講義	
9回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点				講義	
10~13回	高齢者に多い疾患とその留意点 •生活習慣病 •骨、関節系の疾患 •歯、口腔の疾患 •目の疾患 •耳の疾患 •皮膚疾患 •呼吸器疾患 •腎、泌尿器疾患 •脳、神経系疾患 •消化器疾患 •循環器疾患 •精神疾患 •介護保険の特定疾病				講義	
14回	保健医療職との連携				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度及び試験得点（100点満点）					

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	医療的ケア	講師名	実務経験	講義予定	単位数				
科目名	医療的ケア論	高畠亜弥	看護師	2年次	単位数	4単位			
					時間数	68時間			
教育目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識を習得する。								
講義回数	講義内容				備考				
1回	医療的ケアに関連する法・制度				講義				
2回	医療的ケアにおける個人の尊厳と自立				講義				
3回	医療的ケア倫理上の留意点				講義				
4回	保健医療制度とチーム医療				講義				
5回	清潔保持と感染予防				講義				
6～8回	健康状態の把握 ・健康状態をりかいでいるための観察項目 ・急変状態とその対応				講義				
9回	呼吸のしくみと働き				講義				
10回	喀痰吸引とは				講義				
11～12回	喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ				講義				
13～14回	人工呼吸器と吸引				講義				
15～16回	子どもの吸引				講義				
17回	まとめ・確認				講義				
18～20回	喀痰吸引に伴うケア：痰を出しやすくする要素 体位を整えるケア　・口腔ケア				講義				
21～22回	喀痰吸引後の報告および記録				講義				
23～24回	消化器系のしくみと働き				講義				
25回	経管栄養とは				講義				
26回	経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ				講義				
27回	経管栄養実施上の留意点				講義				
28回	子どもの経管栄養				講義				
29～33回	経管栄養に必要なケア： ・消化機能を促進するケア　・体位を整えるケア ・口腔内や鼻のケア・胃ろう部のケア				講義				
34回	まとめ・科目試験				試験				
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）								

授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	医療的ケア	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医療的ケア演習	高畠亜弥 津田君江	看護師	2年次	単位数	1単位
教育目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な技術を習得する。					
演習回数	演習内容				備考	
1~2回	救急蘇生法				演習	
3~8回	喀痰吸引 ・口腔:5回以上 ・鼻腔:5回以上 ・気管カニューレ内部:5回以上				演習	
9~14回	経管栄養 ・胃ろう:5以上 ・経鼻経管栄養:5回以上				演習	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点（100点満点）					